

Unica JourneyV12.1.2 ユーザーズ・ガイド



Contents

Chapter 1. 紹介のUnica Journey 1	
特徴Unica Journey..... 1	
利点のUnica Journey..... 1	
Chapter 2. はじめにUnica Journey 3	
Chapter 3. エントリーソース 6	
エントリーソースの作成する..... 6	
エントリーソース一覧画面での操作する..... 8	
エントリーソースにリストされた列を追加または削除する..... 8	
エントリーソースの変更する..... 9	
エントリーソースを別のフォルダに移動する..... 10	
エントリーソースの削除..... 10	
Chapter 4. データ定義 11	
データ定義の作成..... 11	
データ定義一覧ページの操作..... 12	
リストされた列をデータ定義に追加または削除する..... 12	
データ定義の変更..... 13	
別のフォルダへのデータ定義の移動..... 13	
データ定義の削除..... 14	
Chapter 5. Journeys 15	
Journeyの作成..... 15	
キャンバスのデザイン..... 17	
タッチポイント..... 17	
電子メールタッチポイントの構成..... 19	
SMS タッチポイントの構成..... 21	
Salesforce タッチポイントの構成..... 23	
Whatsapp タッチポイントの構成..... 23	
Mobile Push タッチポイントの構成..... 24	
Journeyコントロール..... 25	
オーケストレーション..... 30	
Journey出品ページの操作..... 33	
リストページJourneyのフィールド..... 34	
Journeyでリストされた列を追加または削除します..... 36	
Journeyをインポート..... 37	
詳細の変更Journey..... 38	
Journeyを別のフォルダに移動する..... 38	
Journeyをエクスポートする..... 39	
Journeyの削除..... 39	
複製Journey..... 39	
Journey設定または重複排除..... 40	
Journey目標..... 41	
Journey統計..... 44	
Journeyステータス..... 46	
公開されたJourneyを見る..... 46	
ドラフトJourneyの表示..... 46	
一時停止したJourneyを表示する..... 47	
完了したJourneyを表示します..... 47	
レポート..... 48	
Chapter 6. Journeyチェーニング 53	
Chapter 7. Journeyのテンプレート 54	
Chapter 8. Journey との統合を提供 55	
Deliver・Offerインテグレーション..... 55	
Link・オファー統合..... 58	
Interact・ネクスト・ベスト・オファー (NBO) 59	
コンタクト履歴/レスポンス履歴のトラッキング..... 60	
Chapter 9. 設定 62	
デフォルトの電子メール接続の設定する..... 62	
デフォルトのSMS 接続の設定する..... 62	
デフォルトのCRM 接続の設定..... 63	
デフォルトのADTECH 接続の設定..... 63	
LinkedInのデフォルト接続を設定する..... 63	
デフォルトのデータベース接続を設定する..... 64	
接続を管理する..... 64	
RESTの統合..... 67	
新しいREST 統合の作成..... 67	
REST 統合リストを表示します..... 68	
既存のREST 統合の変更..... 68	
REST 統合の削除..... 69	
デベロッパーツール..... 69	
APIドキュメント..... 69	
Chapter 10. 基本的な機能 70	
検索..... 70	
ヘルプ..... 71	
プロフィールの情報..... 71	
Chapter 11. 共通機能 72	
フォルダー..... 72	
フォルダーの作成..... 72	
フォルダを検索する..... 73	
フォルダの編集..... 73	
フォルダを表示する..... 73	
フォルダー内のアーティファクトが表示されます..... 74	
1つまたは複数のフォルダーの移動します..... 75	
1つまたは複数のフォルダーを削除する..... 75	

Chapter 1. 紹介のUnica Journey

Unica Journeyコンテキスト主導のパーソナライズされたマルチステップのオムニチャネル カスタマー エクスペリエンスを作成、実行、視覚化するための目標ベースのオーケストレーション ソリューションです。

Unica Journeyにマーケターが使用できる：

- カスタマー エクスペリエンスの目標を定義する
- Journeyをリアルタイムで簡単に調整して達成する
- 洗練された直感的なツールを使用して、チャンネル/タッチポイントおよびイベント全体のカスタマー Journey全体を作成および視覚化します。 Journeyキャンバス

カスタマー Journeyは完全に自動化され、顧客のブランド エンゲージメントのすべてのステップと同期されます。内でリアルタイムのインサイトを使用するJourney顧客の行動を理解するJourney.

特徴Unica Journey

の特徴Unica Journey以下の通り：

- **目標主導のエクスペリエンス:** カスタマー エクスペリエンスの目標を定義し、Journeyをリアルタイムで簡単に調整して達成します。
- **オーケストレーション キャンバス:** 洗練された直感的な操作で、チャンネル/タッチポイントおよびイベント全体のカスタマー Journey全体を作成および視覚化します。 キャンバスJourney。
- **Always on Engagement :** 顧客のブランド エンゲージメントのすべてのステップと同期する、完全に自動化された実行。
- **リアルタイムのインサイト:** カスタマー Journeyでの出来事を反映したインサイトを使用して、顧客の行動を理解します。
- **タッチポイントの選択:** デジタル チャネル用のすぐに使用できるネイティブ タッチポイントを活用するか、カスタム タッチポイントを作成して、エコ システム全体のJourneyをシームレスに調整します。
- **動的データ フレームワーク:** 柔軟なデータ定義とエントリ ソースにより、複数のタッチポイントからのさまざまな形式 (ファイル、API など) のコンテキスト データとイベントでカスタマー Journeyを強化します。

利点のUnica Journey

Unica Journeyの利点が以下の通り：

- **ブランド ロイヤルティの向上:** ターゲットを絞った自動化されたJourneyにより、顧客を獲得、育成、変換、維持することで、ブランド フォローを強化します。
- **強化されたオムニ チャネル エンゲージメント:** アウトバウンドのネイティブ統合により、チャンネル全体で一貫したカスタマー エクスペリエンスを提供します (Unica Campaign) およびインバウンド エンゲージメント (Unica Interact 、 Unica Discover 、 とUnica Deliver) 。
- **顧客コンバージョン サイクルを短縮する:** 一歩先を行き、タイムリーなネクスト ベスト アクションで顧客を目標に導きます。

- **瞬間に反応する**: 顧客が旅のどこにいるかを知る機会を逃さず、適切な体験で顧客を喜ばせます。
- **マーケティングの TCO の削減**: 自動化されたフローとプラグ アンド プレイによる MarTech エコシステムへの統合により、マーケティングの TCO を削減します。Unica Link .

Chapter 2. はじめにUnica Journey

以下、Journeyの設計における基本的な流れについて説明します。

に入ってくるデータの入力ソースを定義する。Journey

最初のステップは、Journeyのエントリソースを定義および作成していますJourney。Unica Journeyさまざまなエントリソースから入力データを受け取ることができます。これらのソースは、Journeyのアプリケーションにデータを入力します。次のエントリソースはで利用可能ですJourneyオーディエンスデータのを入力をサポートするJourney:

- **ファイルベースの入力ソース**- 対応するファイル形式は、CSV、TSV、とJSONです。静的なデータのを入力をJourneyで取得する必要がある場合、このタイプのエントリソースを作成することができます。
- **REST エントリソース**- このタイプのエントリソースは、実行時にJourneyでデータのを入力をサポートします。REST エンドポイントを使用して、外部システムからJourneyにデータを入力することができます。
- **Kafkaエントリソース**- このタイプのエントリソースは、実行時にJourney、データのを入力をサポートします。外部システムからデータを入力できますJourneyKafka エントリソースを使用します。Unica CampaignとUnica Interactまた、Kafkaを使用してオーディエンスデータをUnica Journey.Journeyこのデータ入力専用のKafka トピックを提供します。
- **Unica Campaign**- このタイプの入力ソースは、実行時にJourneyでデータのを入力をサポートします。Unica campaignの入力ソースを使用して、Unica Campaign からJourneyまでデータを入力することができます。
 - Unica campaign入力ソースを選択すると、選択したキャンペーン入力ソースにデータを送信しているすべてのキャンペーンフローチャートの詳細が表示されます。キャンペーン名、キャンペーンID、フローチャート名、フローチャートID、と最終実行日時情報が含まれます。
- **Unica Interact**- このタイプのエントリソースは、エントリソースを作成するための入力が必要としません。エントリソースを作成すると、そのユニークなコードを使ってInteractからJourneyにデータが送信されます。
- **Unica Discover**- このタイプのエントリソースは、エントリソースを作成するための入力はありません。エントリソースを作成すると、そのユニークなコードを使ってDiscoverからJourneyにデータが送信されます。



Note: Unica Interact および Unica Discover のオプションは、V12.1 Fixpack3 から使用できます。

に入ってくるデータの形式を定義する。Journey

Unica Journeyさまざまなソースからのデータを受け入れます。さまざまなソースからデータを受け入れるため、エントリソースに着信するデータの形式を認識する必要があります。データの形式を定義するために、Unica Journeyでデータ定義を作成する必要があります。データ定義を作成する際、入力フィールドのフィールド名、データタイプ、日付形式(日付型フィールドの場合)、長さを指定します。Journey、これを使って入力されるデータの形式を識別します。

データ定義とエントリソースでJourneyを作成する

作成できますJourney複数のエントリソースを持つ。Journey Files、Kafka、Unica Campaign、Unica Interact、Unica Discover、RESTなどの入力に複数のソースを柔軟に使用できます。Journeyの作成時、またはJourneyの変更時に、エントリソースを追加または削除することができます。さらに、Journeyにデータ定義を割り当てる必要があります。データ定義は、JourneyがJourneyに入ってくるデータの形式を特定するのに役立つ。Journeyに追加できるデータ定義は1つだ

けです。データ定義が割り当てられ、Journey が公開されると、データ定義を変更することはできません。データ定義の変更はドラフト状態の時のみ可能ですが、Journey の設定 タッチポイント を削除することができます。

をデザインする。Journey

Journey のコントロールとパレットで利用できるタッチポイントを使って、Journey をデザインすることができます。パレットは2つのカテゴリーに分かれています。

- **タッチポイント**- 配信チャネルとの統合を可能にします。
- **コントロール**-Journey の実行ロジックを設計するのに役立ちます。

Journeyタッチポイント

次の表は、タッチポイントとそれに関する簡単な説明の一覧です。

アイコン	タッチポイント	説明
	E メール	Unica Deliverを使用して電子メール通信を送信しますまたUnica Link
	SMS	SMSを使用して通信を送信します。Unica Link
	Salesforce	Unica Linkを使用して、連絡先や見込み客の追加または更新などのCRM 操作を実行します。
	Whatsapp	whatsappを使用してメッセージを送信します。Unica Deliver

Journeyコントロール

次の表は、Journey 制御とそれに関する簡単な説明の一覧です。

アイコン	Journeyコントロール名	説明
	決定	Journey デザイナーは、オーディエンスデータ上の設定された条件に基づいてJourney フローを分割できるようにします。
	エンゲージメント	Journey デザイナーは、タッチポイントのアクションに対するオーディエンスの反応に基づいて、Journey フローを分割することが可能です。
	参加	Journey デザイナーが、2つのブランチからデータフローを結合できるようにします。

アイコン	Journeyコントロール名	説明
	遅延	Journey デザイナーは、定義されたステージで、Journey 観客のために実行の遅延を導入することを可能にしま す。
	公開	設計されたJourneyを出力しますJourneyフラット ファイル、Kafka トピック、またはタイプ Kafka のエントリソースへのデータ
	データベース	データベース行の挿入/更新や生SQLの更新により、他 のシステムとのオーケストレーションを可能にす る。これは、Journeyのすべてのレコードに対して実 行されます。

Chapter 3. エントリーソース

エントリーソースは、あなたがデータを提供しているソースですJourney.Journey1 つまたは複数のエントリーソースを持つことができます。

エントリーソースの作成する

About this task

エントリーソースを作成するには、次の手順を実行します。

1. エントリーソース] メニューで、「+エントリーソース」をクリックします。

Result

エントリーソースの作成ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。

- **名前**- 必須
- **説明文**- 任意

3. エントリーソースをルート (/) フォルダ以外の場所に保存する場合は、**[参照]** をクリックして必要なフォルダを選択します。
4. **[データのインポート元]** セクションで、次のオプションのいずれかを選択します。
 - a. **ファイルのアップロード**- CSV、TSV、JSONb。
 - b. **リアルタイム**- REST API、KAFKA、Unica Campaign、Unica Interact、Unica Discover



Note:

- 顧客の静的データがある場合は、**CSV**、**TSV**、および**JSON**を使用します。トランザクション モードには、**REST API**、**Kafka**、**Unica Campaign**、**Unica Interact**および**Unica Discover**を使用します。
 - **CSV**、**TSV**、**JSON**の場合、複数のファイルを追加できます。Journeyが重複したデータに遭遇した場合、**Journey設定または重複排除 on page 40**で行った設定に基づき、データを更新するか、データを破棄します。重複排除の設定をしていない場合でも、Journeyは新しいデータを受け入れ、新しく追加されたファイルを処理します。
- **CSV**- このオプションを選択した場合、適切なCSVデータファイルをアップロードします。
 - **TSV**- このオプションを選択した場合、適切なTSVデータファイルをアップロードします。
 - **JSON**- このオプションを選択した場合、適切なJSONデータファイルをアップロードします。
 - **REST API**- このオプションを選択すると、データを動的にプッシュすることができる静的なURLを受け取ることができます。
 - a. REST API キーを生成します。詳細については、**新しい REST 統合の作成 on page 67**を参照してください。
 - b. `http://<localhost>:<port-number>/journey/api/thirdpartylogin` のURLで認証トークンを生成する。
 - c. このURLを認証するために、ステップ(a)で生成したREST APIキーを使用します。

- d. Journeyにデータを送信するには、上記のRest APIを使用し、認証トークンとentrySourceCodeを使用してデータを送信してください。
 - e. REST エントリーソースでデータを送信する場合は、entrySourceCodeは必須です。
- **Kafka** - このオプションを選択すると、データを投稿できる専用の Kafka トピック名が表示されます。デフォルトでは、STREAMING_IMPORT が Kafka トピック名として選択されています。ボタンをクリックして、新しい Kafka トピック名を追加できます。指定された名前の新しいトピックが KAFKA に作成されます。何らかの理由 (サーバーのダウンなど) でトピックが Kafka で作成されない場合、Unable to create KAFKA topic ES creation fails というエラー メッセージが表示されます。ユーザーは別の名前を選択するか、しばらくしてから再試行する必要があります。



Note: 内部 kafka トピック名は、カスタム kafka トピック ES の作成には使用できません。トピック名を設定して保存すると、トピック名は編集できなくなります。エントリーソースを削除しても、基礎となる KAFKA トピックは削除されません。

ユーザーは、Unica の拡張を要求することなく、選択した外部ソースを統合できます。CIF にプラグインを追加することで、Journey とのこの統合を構築できます。詳細については、Unica コンテンツ統合開発者ガイドを参照してください。

また、出荷時に mailchimp との統合を出荷しています。この統合の構成方法の詳細については、Unica Content Integration Installation and Configuration Guideを参照してください。

ユーザーは、Kafka トピック名の横にある [外部ソースを同期] ボタンを使用して、外部エントリーソースを追加することもできます。

- a. **[外部エントリーソースの同期]** をクリックします。
 - [ソースの追加] ページが表示されます。
- b. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
 - **ソース リポジトリ**の選択 - フィールドのドロップダウンからリポジトリを選択します。
 - **オーディエンスまたはイベント タイプ**を選択 - フィールドのドロップダウンからオーディエンスまたはイベントタイプを選択します。
 - **Journeyデータ定義**を選択 - **[参照]** をクリックして、必要なデータ定義を選択します。
- c. **[フィールドマッピング]**ダイアログが表示されます。
- d. Journey データ定義フィールドを適切なソース リポジトリ フィールドにマップします。
- e. **[保存して閉じる]** をクリックします

選択した外部ソースが日時とともにエントリーソースの作成ページに表示されます。詳細を表示するためのアイコンを選択外部ソース。詳細を編集するためのアイコンを選択外部ソース。を選択アイコンをクリックして、選択したエントリーソースを削除します。

- **Unica Campaign** - このオプションを選択すると、Unica Campaign から Journey にデータを送信できます。プラットフォームのトークン有効期限はデフォルトで15秒なので、手動で10800秒 (3時間) に延長する必要があります。このため、Campaign応募元画面で「Campaignのログインに失敗しました」または「セッションが終了しました」というエラーメッセージが表示されます。アプリケーションに再ログインしてみてください。

パス

「プラットフォーム」 → 「設定」 → 「一般」 → 「その他」 → 「トークン寿命」



Note: 有効期限を延長した後、Campaignアプリケーションを再起動します。

- **Unica Interact** - このオプションを選択すると、Unica Interact から Journey にデータを送信できます。
- **Unica Discover** - このオプションを選択すると、Unica Discover から Journey にデータを送信できます。

5. **エントリーソースの作成** をクリックします。



Note: CSV、TSV形式のファイルエントリーソースの場合、ファイルタイプのエントリーソースの最初の行は、データ定義のフィールド名（対応するデータ定義に記載されているのと同じ大文字と小文字を含む）でなければなりません。Jsonタイプのファイル入力ソースには適用されません。



Note: 日付フィールドの場合、入力ソースに渡されるデータ（Journeyズで使用するデータ定義のデータ型が日付の場合）は、データ処理の矛盾を避けるため、データ定義で入力された日付形式と一致させる必要があります。

エントリーソース一覧画面での操作する

エントリーソース リスト ページには、作成したすべてのエントリーソースが一覧表示されます。ビューをカスタマイズしたり、一覧表示されたエントリーソースを変更したりできます。

エントリーソース リスト ページでは、次の操作を実行できます。

- [エントリーソース にリストされた列を追加または削除する on page 8](#)
- [エントリーソースの変更する on page 9](#)
- [エントリーソースを別のフォルダに移動する on page 10](#)
- [エントリーソースの削除 on page 10](#)

エントリーソース にリストされた列を追加または削除する

エントリーソース リスト ページには、指定したフォルダの エントリーソース が一覧表示されます。デフォルトの列は、要件に従ってカスタマイズできます。

About this task

デフォルトフィールドはデフォルトで表示され、ビューからデフォルトフィールドを削除することはできません。

次の表に、使用可能なすべての列フィールドを示します。

Table 1. エントリーソース リストで使用可能な列フィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	はい

Table 1. エントリーソース リストで使用可能な列
フィールド (continued)

フィールド名	デフォルト フィールド?
作成者	No
作成日	No
説明	No
エントリーソース名	はい
最終更新者	No
最終更新日	はい
ソース	はい
ステータス	はい

エントリーソース リスト ビューをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. **[列の追加/削除]** を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、**[デフォルトにリセット]** をクリックします。
3. **[適用]** をクリックして選択を保存します。

エントリーソースの変更する

作成した エントリーソース を変更できます。変更は、エントリーソースのステータスに依存します。エントリーソースのステータスはIn Useです。Journey任意の状態(下書き、完了、一時停止、または公開)。エントリーソースのステータスは、関連付けられていない場合、Idleです。Journey エントリーソースのステータスがIdleの場合、すべてのフィールドを変更できます。エントリーソースのステータスが[使用中]の場合は、[名前]、[説明]、および [フォルダ] フィールドを変更し、エントリーソースにファイルを追加することもできます。

About this task

[データのインポート元] フィールドの値は変更できません。たとえば、エントリーソース タイプを CSV から TSV などのオプションに変更することはできません。

エントリーソースの変更中に、名前、説明、およびフォルダを変更できます。

エントリーソースを変更するには、次の手順を実行します。

1. 必要なエントリーソースにカーソルを合わせます。
2. **>** を選択する。または、エントリーソース名をクリックします。
3. 必要な変更を行う。詳しくは、『[エントリーソースの作成する on page 6](#)』を参照してください。
4. 変更を保存するには、**[エントリーソースの更新]** をクリックします。

エントリソースを別のフォルダに移動する

1つのエントリソースまたは複数のエントリソースをあるフォルダから別のフォルダに移動できます。

About this task

エントリソースまたは複数のエントリソースを移動するには、次の手順を実行します。

1. 次のいずれかの方法を使用します。
 - a. 単一のエントリソースを移動するには、必要なエントリソースの上にカーソルを置いて、> をクリックするか、必要なエントリソースの前にあるチェックボックスを選択して、**[フォルダに移動]** をクリックします。
 - b. 複数のエントリソースを移動するには、必要なエントリソースの前にあるチェックボックスを選択し、**[フォルダに移動]** をクリックします。
2. 必要な宛先フォルダーを選択し、**[ここに移動]** をクリックします。

エントリーソースの削除

エントリソースを削除するには、エントリソースの一覧ページにアクセスする必要があります。ステータスがIdleのエントリーソースのみを削除できます。

About this task

Journeyによって使用されているエントリソースは削除できません。または複数Journey秒。

エントリソースまたは複数のエントリソースを削除するには、次の手順を実行します。

次のいずれかの方法を使用します。

- a. エントリソースを削除するには、必要なエントリソースの上にカーソルを置いて、> をクリックするか、必要なエントリソースの前にあるチェックボックスを選択して、**[削除]** をクリックします。
- b. 複数のエントリソースを削除するには、必要なエントリソースの前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]** をクリックします。

Chapter 4. データ定義

データ定義は、データのスキーマです。

データ処理

データ処理では、有効なデータまたは無効なデータを処理し、受け入れるか拒否します。

重要/電子メール- 電子メールの形式は正しい必要があります。無効な電子メール形式は拒否されます。エントリソースから渡される場合、このフィールドを空白または NULL にすることはできません

重要/Number- 数値のみが許可されます。数値以外の値、および NULL 値または空白値は拒否されます。

必須フィールド- 重要なフィールドまたは重要でないフィールドが必須としてマークされている場合、エントリソースでその値を NULL または空白にすることはできません。指定された文字制限は、フィールドの最大制限になります。上記の長さを超える値は拒否されます。

これらの必須フィールドの検証は、フィールドが必須と重要な両方にマークされている場合に、重要なフィールドの検証に追加されます。

データ定義の作成

About this task

データ定義を作成するには、以下の手順を実行します。

1. データ定義メニューで、「+ **データ定義**」をクリックします。

Result

データ定義の作成ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。

- **名前**
- **説明**

3. データ定義をルート(/)フォルダー以外の場所に保存する場合は、**[参照]** をクリックして必要なフォルダーを選択します。

4. フィールドの詳細 セクションには、自動化された方法で顧客に連絡するためのフィールドの詳細を追加します。各フィールドの詳細には、以下の値の組み合わせが含まれる。

- **フィールド名**- データと一致させる必要があります。
- **重要なフィールド**- フィールドJourneyユーザーとの通信に使用します。
- **データタイプ** フィールドのデータ型。例えば、String、Numeric、または日付などです。日付データ型を選択すると、新しいフィールドが表示されます。日付の形式を入力すると、候補がドロップダウンボックスに表示されます。ドロップダウン・ボックスから選択された値のみが有効な値です。無効な形式を入力した場合、データ定義は作成されますが、処理エラーになります。
- **必須**- フィールドがエントリソースに渡されることが必須かどうかを示します。詳細については、[データ定義 on page 11](#)を参照してください。
- **文字数制限**- **必須**項目としてマークされている場合、値として許容される最大文字数。

1つまたは複数のフィールドの詳細を作成します。フィールドの詳細を追加するには、**+フィールド**をクリックします。既存のフィールドの詳細を削除するには、アイコン。

5. **[データ定義の作成]** をクリックします。



Note: Journeyは、利用可能なオプションとは別に、フリーテキストフィールドとしてデータ定義のすべてのJavaの日付形式をサポートしていますドロップダウンです。



Note: 区切り文字としてスペースを使用できる既存の日付形式は、Journey データ定義も区切り文字「/」、「.」を使用した日付形式をサポートします。、「-」

データ定義一覧ページの操作

データ定義一覧ページには、作成したすべてのデータ定義が一覧表示されます。ビューをカスタマイズしたり、リストされたデータ定義を変更したりできます。

データ定義一覧ページでは、次の操作を実行できます。

- [リストされた列をデータ定義に追加または削除する on page 12](#)
- [データ定義の変更 on page 13](#)
- [別のフォルダへのデータ定義の移動 on page 13](#)
- [データ定義の削除 on page 14](#)

リストされた列をデータ定義に追加または削除する

データ定義一覧ページには、指定したフォルダのデータ定義が一覧表示されます。デフォルトの列は、要件に従ってカスタマイズできます。

About this task

次の表に、使用可能なすべての列フィールドを示します。

Table 2. データ定義リストで使用可能な列フィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	はい
作成者	No
作成日	No
定義名	はい
説明	No
関連付けられたJourney	No
最終更新者	No
最終更新日	はい
ステータス	はい

データ定義リストビューをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. **[列の追加/削除]** を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、**[デフォルトにリセット]** をクリックします。
3. **[適用]** をクリックして選択を保存します。



Note: ユーザーは、使用中であっても、データ定義に新しいフィールドを追加できます。また、Journeyでは、データ定義が使用中であっても、新しいフィールドをデータ定義に追加できます。

データ定義の変更

作成したデータ定義を変更できます。

About this task

任意の状態（ドラフト、完了、一時停止、または公開）のJourneyに関連付けられている場合、データ定義ステータスは使用中です。Journeyに関連付けられていない場合、データ定義ステータスはidleです。ステータスが使用中のデータ定義の変更規則は次のとおりです。

Journeyの状態	編集 (N/D/F)	重要なフィールドを変更する	重要なフィールドを追加	新しいデータフィールドを追加	既存のデータフィールドの変更	既存のデータフィールドを削除	Journeyとの関連付けを変更
ドラフト	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
公開済み	はい	NO	NO	NO	NO	NO	NO
一時停止	はい	NO	NO	はい	NO	NO	NO
完了	はい	NO	NO	NO	NO	NO	NO

データ定義を変更するには、次の手順を実行します。

1. 必要なデータ定義の上にカーソルを置きます。
2. > アイコンを選択します。または、定義名をクリックします。
3. 必要な変更を行う。詳しくは、『[データ定義の作成 on page 11](#)』を参照してください。
4. 変更を保存するには、**[データ定義の更新]** をクリックします。

別のフォルダへのデータ定義の移動

1つのデータ定義または複数のデータ定義を1つのフォルダーから別のフォルダーに移動できます。

About this task

1つまたは複数のデータ定義を削除するには、次の手順を実行します。

1. 次のいずれかの方法を使用します。
 - a. 単一のデータ定義を移動するには、必要なデータ定義の上にカーソルを置き、 > をクリックするか、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択して **[フォルダに移動]** をクリックします。
 - b. 複数のデータ定義を移動するには、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択し、 **[フォルダに移動]** をクリックします。
2. 必要な宛先フォルダーを選択し、 **[ここに移動]** をクリックします。

データ定義の削除

データ定義を削除するには、データ定義リスト ページにアクセスする必要があります。ステータスが `Idle` のデータ定義のみを削除できます。

About this task

ステータスが **In Use** のデータ定義は削除できません。

1 つまたは複数のデータ定義を削除するには、次の手順を実行します。

次のいずれかの方法を使用します。

- a. データ定義を削除するには、必要なデータ定義の上にカーソルを置いて、 > をクリックするか、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択して **[削除]** をクリックします。
- b. 複数のデータ定義を削除するには、必要なデータ定義の前にあるチェックボックスを選択し、 **[削除]** をクリックします。

Chapter 5. Journeys

Unica Journeyコンテキスト主導のパーソナライズされたマルチステップのオムニチャネル カスタマー エクスペリエンスを作成、実行、視覚化するための目標ベースのオーケストレーション ソリューションです。

Unica Journeyにマーケターが使用できる：

- カスタマー エクスペリエンスの目標を定義する
- 簡単に調整Journeyそれらを達成するためにリアルタイムで
- 顧客全体を作成して視覚化するJourneyスマートで直感的なJourneyキャンバス

カスタマー Journeyは完全に自動化され、顧客のブランド エンゲージメントのすべてのステップと同期されます。内でリアルタイムのインサイトを使用するJourney顧客の行動を理解するJourney.

Unica Linkとの統合により、Journeyはサードパーティベンダーと統合することができます。また、Unica Journeyは柔軟なデータ定義と入力ソースを持っており、複数のタッチポイントからのコンテキストデータ、イベント、様々なフォーマット（ファイル、APIなど）でカスタマーJourneyを補強することができます。

設計と実行Journey次の手順で行います。

1. Journeyの[作成](#) - Journey on page 15の作成Journey必要なエントリ ソースを選択し、使用するデータ定義を指定することにより、Journey .
2. [デザイン](#) Journey on page 17- ユーザーJourneyコントロールとタッチポイントを設計するJourney.
3. [Journeyの目標](#) on page 41を定義する - 定義するJourneyマーケティング目標を評価し、目標を達成するのに役立ちます。Journey .
4. [Journey設定](#) on page 40の定義 - 定義Journey入力する重複データを処理するための設定Journey.
5. Journeyの公開- 公開Journeyの実行を開始しますJourney.デフォルトでは、Journey実行は停止しません。実行は常に ON です。定義できますJourneyを完了するための目標Journey自動的に、または手動でマークを完全なように付けますJourney.
6. Journeyの一時停止 - 公開済みのJourneyを一時停止できますJourneyそしてそれを編集します。
7. Journeyの編集 - 一時停止したJourneyを編集できますJourneyそして再発行します。
8. Journeyを完了としてマークする -Journeyを完了としてマークできますJourney完全に停止しますJourney実行。

Journeyの作成

About this task

Journeyを作成するには、次の手順を実行します。

1. [Journey] メニューで、[+] をクリックします。 **Journey** .

Result

新しいJourneyの作成ページが表示されます。

2. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
 - **名前**- 必須項目です。
 - **説明**- オプションフィールド

3. **参照**をクリックして、Journey を保存する**フォルダー**を選択します。Journey を新しいフォルダに保存したい場合は、フォルダを作成します。詳細については、[フォルダーの作成 on page 72](#)を参照してください。
4. 地域の連絡先設定を追加するには、[地域の連絡先設定を使用] チェックボックスを選択します。チェックボックスをオンにすると、フィールドの**タイムゾーン**は**[地域の選択 (連絡先設定)]**になります。地域の選択 (連絡先の設定) ドロップダウンからタイムゾーンの設定を選択します。コンタクト セントラルから設定されたタイムゾーン設定は、このドロップダウンで利用できます。コミュニケーションを送信している間、Journey は定義された時間設定を確認し、送信時間が選択された時間枠内にある場合にのみ続行します。送信時間が選択した時間枠内に収まらない場合、Journeyは待機状態になり、次の優先時間まで待機します。
5. 必要な**タイムゾーン**を選択します。ユーザーが連絡先設定なしでJourney タイムゾーンを使用する場合、ユーザーは **[地域の連絡先設定を使用する]** オプションのチェックを外すことができます
別のタイムゾーンのJourneyを作成し、そのタイムゾーンで実行することができます。例えば、インドのユーザーで、US PSTのお客様向けに、Journey、12月25日00:00に実行するようスケジュールすることができます。



Note: Journey は、HIP および配信から受信したすべての応答を UTC タイムゾーンで処理します。Journey が UTC 以外のタイムゾーンで応答を受信した場合でも、UTC タイムゾーンに従ってのみ処理します。このような場合、時間の不一致が発生し、ゴール履歴とゴール分析ページで応答回数が不一致になることがあります。

6. 適切な**マーケティングステージ**を選択する。使用可能な値を以下に示します:

Choose from:

- 参照
- 保持
- 移行
- 活性化
- 買収
- 意識改革

7. Journeyにマイルストーンを追加するには、[マイルストーンを追加したい] チェックボックスを選択します。チェックボックスをオンにした後、キャンバスページで「連絡先の重複を許可しない」と「既存の連絡先を更新する」ラジオボタンを選択し、連絡先を更新するための重複排除の設定を行います。設定を保存する場合は、**[保存して閉じる]**をクリックします。マイルストーンで設計されたJourneyは、この重複排除設定を構成しないと公開されません。
8. エントリーソースを選択するには、**[参照]**をクリックします。
エントリーソースは最大10個まで選択可能です。エントリーソースの詳細については、[エントリーソース on page 6](#)を参照してください。
エントリーソースを作成するには、[エントリーソースの作成する on page 6](#)を参照してください。



Note: マイルストーンを追加したい」にチェックを入れると、「入力ソース選択」セクションが利用できなくなります。次のページでは、入力ソースを選択することができます。

9. データ定義を選択するには、**[参照]**をクリックします。

Journeyに追加できるデータ定義は1つだけです。データ定義の詳細については、[データ定義 on page 11](#)を参照してください。

データ定義を作成するには、[データ定義の作成 on page 11](#) を参照してください。

10. マイルストーンを追加するには、マイルストーン名を入力し、「**追加**」をクリックします。

Journeyには最大7つのマイルストーンを追加できます。

11. **[次へ]** をクリックします

Result

マイルストーンの詳細ページが表示されます。



Note: 次のオプションは、マイルストーンがJourneyに追加された場合にのみ使用できます。

12. マイルストーンの詳細ページでは、追加したマイルストーンにエントリースソースを追加することができます。エントリースソースを選択するには、**[参照]** をクリックします。

マイルストーンには最大10個のエントリースソースを追加できます。マイルストーン条件は、Journeyに関連付けられたデータ定義フィールドで構成できます。フィールドのデータ型に基づき、演算子が表示されます。

13. **[保存して続行]** をクリックします。

Result

Journey の作成が成功し、**Canvas**ページが表示されます。

What to do next

キャンバス機能を使って、Journey の動作を設計します。詳細については、[キャンバスのデザイン on page 17](#) を参照してください。

キャンバスのデザイン

Journeyの動作を設計する目標、タッチポイント、コントロールを追加します。

About this task

デフォルトでは、Journey始点と終点があります。キャンバスをデザインするには、次の手順を実行します。

1. タッチポイントを構成します。詳しくは、『[タッチポイント on page 17](#)』を参照してください。
2. 構成するJourneyコントロール。詳しくは、『[Journeyコントロール on page 25](#)』を参照してください。
3. 構成するJourneyゴール。詳細については、[Journey目標 on page 41](#)を参照してください。

タッチポイント

タッチポイントを使用して、顧客とのコミュニケーション モードを確立します。

About this task

Journeyで、お客様とのコミュニケーション方法を設定する必要があります。メールまたはSMSで通信することを選択できます。特定のタッチポイントの重要なフィールドがデータ定義で構成されていない場合、タッチポイントは無効になります。たとえば、電子メール タッチポイントを使用する必要があり、追加したデータ定義に名、姓、および携帯電話番号フィールドがあり、重要なフィールドとして携帯電話番号がある場合、電子メール タッチポイントは無効になりますが、SMSタッチポイントが有効になります。

詳しくは、『[データ定義の作成 on page 11](#)』を参照してください。

タッチポイントを追加するには、次の手順を実行します。

1. パレットからタッチポイントをドラッグし、Journey始点と終点。

利用可能なタッチポイントは次のとおりです。

- Eメール
- SMS
- Salesforce
- Whatsapp
- Facebook
- LinkedIn
- Twitter

ユーザーはリンク経由で Twitter コネクタを追加できます。広告機能のために Twitter でオーディエンスをアップロードするには、既存のリストを使用するか、新しいリストを作成します。これは、他の ADTECH 統合と非常に似ています。これには新しいタッチポイントは必要ありません。新しいtwitterコネクタを備えた既存のADTECHタイプもリストされます。

オーディエンスのステータス - **Building**、**Updating**、**Ready**、**Archived**などの可能性があります。

2. 追加したタッチポイントをダブルクリックして構成します。

- a. 適切な**名前**を入力します。名前の追加は必須です。

- b. 適切な**説明**を入力します。説明の追加はオプションです。

- c. 次のいずれかのオプションから選択します。

- **Deliver** -
- **Link** - [設定] メニューで構成されたデフォルトの接続に接続します。詳しくは、以下を参照してください。 [デフォルトの電子メール接続の設定する on page 62](#)

- d. タッチポイントにグローバル設定を追加するには、タッチポイントを構成する際に、[営業時間とチャネルの設定に従う (プラットフォームで定義)] チェックボックスを選択します。チェックボックスをオンにすると、Journey は定義された時間設定をチェックし、送信時間が選択された時間枠内にある場合にのみ続行します。送信時間が選択した時間枠内に収まらない場合、Journeyは待機状態になり、次の優先時間まで待機します。Journey キャンバス画面のタッチポイントにカーソルを合わせると、待機状態の Journey の場合、ポップアップに待機オプションが表示されます。待機オプションをクリックすると、待機ページが表示されます。このページには、次の情報が表示されます: 日時、理由、入力ソース名、およびデータ定義フィールド。

[理由] 列には、Journeyが待機状態になる次の理由のいずれかが表示されます。

- **INVALID_COMMUNICATION_TIME** - この待機理由は、ユーザーがコンタクト セントラルで定義された非通信時間に通信を送信しようとする则表示されます。
- **CAPACITY_NOT_AVAILABLE** - この待機理由は、ユーザーが通信を送信しようとしたが、コンタクト セントラルでその日/週に定義されたすべての容量が消費された場合に表示されます。

- **GLOBAL_ID_NOT_MAPPED_WITH_CHANNEL** - この待機理由は、ユーザーがいずれかのチャンネル (電子メール、SMS、whatsapp、プッシュ) から通信を送信しようとしたが、その特定のチャンネルのグローバル設定が設定されていない場合に表示されます。
- **NA** - この待機理由は、Journeyがコンタクト セントラルからの応答を待機している場合に表示されます。Journeyが応答を取得し、上記の理由のいずれかが応答されると、応答が更新されます。

ユーザーが通信を送信するための容量を設定しているが、時間設定を設定していない場合、通信の送信中に Journey は使用可能な容量を確認します。容量が利用可能な場合、通信が送信されます。それ以外の場合、Journey は次の利用可能な容量を待ちます。



Note: 電子メール、SMS、Whatsapp、およびモバイルのプッシュ タッチポイントに対して、タイムゾーンとチャンネルの優先設定を設定できます。

- e. **[次]** をクリックします。
- f. 作成するには Journey 電子メール タッチポイントについては、[電子メールタッチポイントの構成 on page 19](#) を参照してください。
- g. 作成するには Journey SMS タッチポイントを使用する場合は、[SMS タッチポイントの構成 on page 21](#) を参照してください。
- h. 作成するには Journey Salesforce タッチポイントについては、[Salesforce タッチポイントの構成 on page 23](#) を参照してください。
- i. 作成するには Journey Whatsapp タッチポイントで、参照してください [Whatsapp タッチポイントの構成 on page 23](#)

タッチポイントの削除

- 構成されたタッチポイントを Journey から削除すると、関連するリンク アクション ID も削除されます。
- 1 つの Journey に複数の構成済みタッチポイントがあり、Journey を削除すると、関連するすべてのリンク アクション ID が削除されます。
- Journey を保存せずに構成済みのタッチポイントを削除しても、関連するリンク アクション ID は削除されません。



Note: 必要に応じて、タッチポイントを削除できます。

What to do next

使い方を理解して Journey コントロールします。詳細については、[Journey コントロール on page 25](#) を参照してください。

電子メールタッチポイントの構成

電子メール通信を使用して顧客に接続する場合は、電子メールタッチポイントを選択します。両方を統合した場合 Unica Link と Deliver、オプションが表示されます **Deliver** と **Link** 電子メールタッチポイントの配信オプションとして。

Before you begin

この手順を開始する前に、を参照してください。 [タッチポイント on page 17](#)。

About this task

電子メールタッチポイントを構成するには、次のいずれかのステップを実行します。

でデフォルトの電子メール接続を設定した場合 [デフォルトの電子メール接続の設定する on page 62](#)、デフォルトの接続セットが **Mailchimp** の場合は、手順 (4) に進みます。デフォルトの接続先が **Mandrill** の場合、ステップ(5)に進みます。デフォルトの電子メール接続を設定していない場合は、**[既存の接続]**ダイアログが開きます。

1. **Mailchimp** または **Mandrill** のいずれかを選択し、**[次へ]** をクリックします。

Result

[新しいアクションの作成]ダイアログが表示されます。このダイアログでは、**[既存の接続]** を選択して別のコネクタに切り替えることもできます。

2. デフォルトの接続が **Mailchimp** の場合は、次のステップを実行します。
 - a. 次のフィールドに値を入力します。
 - **連絡先アクション**-必須。連絡先に対して実行されるアクション。
 - **対象者**-必須。オーディエンスを保存するリスト。
 - **新しいメールキャンペーン**-必須。新しいメールキャンペーンの名前。
 - **メールテンプレート**-必須。メールに使用されるテンプレート。
 - **メールの件名**-必須。ユーザーに送信される電子メールの件名。
 - **プレビューテキスト**-オプション。メールの本文の一部となるテキスト。
 - **送信者の名前**-必須。顧客に電子メールを送信した送信者。
 - **メールへの返信**-必須。顧客が返信するために使用される電子メールアドレス。
 - **タグで連絡先をグループ化**-オプション。
 - **結果の取得終了日**-オプション。

- b. **[次]** をクリックします。

Result

[フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。

- c. メールコネクタフィールドを適切なものにマッピングします Journey フィールド (に関連付けられたデータ定義から取得 Journey その間 Journey 作成)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。

マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。mailchimp で、mailchimp の `first_name` を `fname` にマップすると Journey また、`last_name` を `lname` にすると、電子メールの敬礼はフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。

- d. **[保存]** をクリックします。

3. デフォルトの接続が **Mandrill** の場合は、次のステップを実行します。

- a. 次のフィールドに値を入力します。
 - **メールテンプレート**-必須。 **[フェッチ]** をクリックして、使用可能なテンプレートを表示します。
 - **送信者の電子メール**-オプション。通信を送信するユーザーの電子メールアドレス。

- **メールの件名**-オプション。ユーザーに送信される電子メールの件名。
- **メールへの返信**-オプション。顧客が返信するために使用される電子メールアドレス。
- **結果の取得終了日**-オプション。顧客の応答を受け入れる日付を構成します。



Note: Mandrillを構成するときに、オプションのフィールドに値を指定しない場合、Mandrillは選択したMandrillテンプレートから値をフェッチします。Mandrillでテンプレートを作成するときに、必ずすべての値を指定してください。

- b. **[次]**をクリックします。

Result

[フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。

- c. メールコネクタフィールドを適切なものにマッピングしますJourneyフィールド（に関連付けられたデータ定義から取得Journeyその間Journey作成）。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。

マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。マンドリルでは、マンドリルのFIRSTNAMEをのFirst_NameにマップするとJourneyLASTNAMEからLast_Nameの場合、電子メールの敬礼はフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。



Note: Mandrillは、**[フィールドマッピング]**ダイアログで最大5つのパーソナライズフィールドをサポートします。

- d. **[保存]**をクリックします。



Note: 電子メールタッチポイントは、配信やリンクなどの配信チャンネルで構成できます。Journeyがドラフトモード（以前は公開されていません）の場合、ユーザーは配信チャンネルを配信からリンクに、またはその逆に変更することはできません。1つの配信チャンネルを設定したら、それを別の配信チャンネルに変更しないでください。必要に応じて、ユーザーは電子メールタッチポイントを削除し、新しい配信チャンネルで構成できます。

Journeyサポート登録解除イベント

Journeyサポート配信を通じてJourneyのイベントの購読を解除します。ユーザーがJourneyの電子メールの購読を解除したい場合は、購読解除を通じて追跡します。ユーザーの電子メールIDはテーブルEmailUnsubscribedListに保存され、Journeyは今後これらのユーザーにメールを送信しません。

SMS タッチポイントの構成

モバイルメッセージを使用して顧客に接続する場合は、SMS タッチポイントを選択します。両方を統合した場合Unica LinkとDeliver、オプションが表示されます**Deliver**と**LinkSMS** タッチポイントの配信オプションとして。

Before you begin

この手順を開始する前に、[タッチポイント on page 17](#)を参照してください。

About this task

SMS タッチポイントを構成するには、次の手順を実行します。



Note: 現在、Unica は LINK (Twilio) および SMS 接続用の配信をサポートしています。

1. Link を選択する。

SMS のデフォルト接続を設定します。詳しくは、『[デフォルトの SMS 接続の設定する on page 62](#)』を参照してください。

Result

「**新規アクションの作成**」ページが表示されます。

- a. 次のフィールドに値を入力します。
 - **メッセージ**-必須。これは、パーソナライズ フィールドを追加できるフリー テキスト テキスト ボックスです。例: こんにちは <First Name> へようこそ Journey.ここで<First Name>はパーソナライズされたフィールドであり、マッピングすることができます Journey 次のステップのフィールド。1 つの SMS に最大 5 つのパーソナライズ フィールドを追加できます。
- b. **[次へ]** をクリックします
 - **[フィールドマッピング]** ダイアログが表示されます。
- c. SMS コネクタ フィールドを適切な Journey フィールド (に関連付けられたデータ定義から取得) Journey その間 Journey 作成)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。
- d. **[保存]** をクリックします。

2. DeliverSMS を送信するための Deliver 次の手順を選択と完了して構成します

Unica Deliver 選択した場合、あなたはに接続されています Unica Deliver SMS を送信するための実行エンジン。

- a. 次の前提条件が満たされていることを確認します。
 - 作成 Unica Deliver の SMS テンプレート Unica Deliver.
 - Unica Deliver を使用して構成する SMS タッチポイントごとに SMS テンプレートを作成します。 . テンプレートの作成の詳細については Unica Deliver、 *Unica Deliver* ユーザー ガイドを見てください。
- b. **[SMS 構成]** ダイアログで、次を選択します。 **Deliver [次へ]** をクリックします。

Result

[テンプレートの選択] ダイアログが表示されます。

- c. 必要なテンプレートを選択します。複数のテンプレートがある場合は、検索バーを使用して必要なテンプレートを見つけます。 **[次]** をクリックします。



Note: Unica Deliver の、SMS タッチポイントを構成するためにテンプレートが選択されると、他の SMS タッチポイントを構成するために使用できなくなります。この条件は、構成直後に Journey を公開する場合にのみ適用されます。 Journey を公開しない場合、その間に別のユーザーが同じテンプレートを使用したい場合、他のユーザーは SMS タッチポイントを構成するために使用できます。他のユーザーが公開した場合 Journey、別のテンプレートを使用して再構成する必要があります。

Result

[マッピング] ダイアログが表示されます。

- d. マップDeliver適切なフィールドJourneyフィールド (関連付けられたデータ定義から取得)Journeyその間Journey作成)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。
マッピングにより、SMS へのパーソナライゼーションが実現されます。DeliverのFirstNameをマッピングする場合Deliverの^{名前}にJourneyLastNameをlnameに変更すると、SMS の挨拶文がフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。
- e. [保存]をクリックします。

Salesforce タッチポイントの構成

Salesforce で顧客とつながりたい場合は、Salesforce タッチポイントを選択します。Salesforce タッチポイントを構成する場合、使用されるコネクタは Salesforce コネクタになります。

Before you begin

この手順を開始する前に、[タッチポイント on page 17](#)を参照してください。

About this task

Salesforce タッチポイントを構成するには、次の手順を実行します。

1. Salesforce コネクタでデフォルトの Salesforce コネクタとして設定します。[デフォルトの CRM 接続の設定 on page 63](#) .

Result

「**新規アクションの作成**」ページが表示されます。

2. 次のフィールドに値を入力します。
 - **オブジェクト アクション**- 必須。新しいオブジェクトを作成するか、既存のオブジェクトを更新するかを指定します。
 - **オブジェクト タイプ**- 必須。新しい見込み客または連絡先を作成するかどうかを指定します。
3. [次]をクリックします。

Result

[フィールドマッピング]ダイアログが表示されます。

4. Salesforce フィールドを適切な Journeyフィールド (Journeyの作成中にJourneyに関連付けられたデータ定義から取得)。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。
5. [保存]をクリックします。

Whatsapp タッチポイントの構成

whatsapp メッセージを介して顧客に接続する場合は、Whatsapp タッチポイントを選択します。Whatsapp は Unica Deliver と統合されているため、Unica Deliver 実行エンジンに接続して whatsapp メッセージを送信できます。

Before you begin

この手順を開始する前に、[タッチポイント on page 17](#)を参照してください。

About this task

Whatsapp タッチポイントを構成するには、次の手順を実行します。

1. Whatsapp タッチポイントをダブルクリックします。

Result

Whatsapp メッセージング ページが表示されます。

2. 次のフィールドに値を入力します。

- ・ **名前** - 必須。
- ・ **説明** - 必須ではありません。

3. **[次]** をクリックします。

Result

[通信の選択] ページが表示されます。

4. 必要なテンプレートを選択します。複数のテンプレートがある場合は、検索バーを使用して必要なテンプレートを見つけます。

5. **[次]** をクリックします。

Result

マッピング ページが表示されます。

6. マップ適切なフィールド Journey フィールド (関連付けられたデータ定義から取得) Journey その間 Journey 作成) 。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。

マッピングは、Whatsapp へのパーソナライゼーションを実現します。Deliver の `FirstName` をマッピングする場合 Deliver の `名前` に Journey `LastName` を `lname` に変更すると、SMS の挨拶文がフィールドの値に合わせてパーソナライズされます。

7. **[保存]** をクリックします。

Mobile Push タッチポイントの構成

Mobile Push メッセージを介して顧客に接続する場合は、Mobile Push タッチポイントを選択します。Mobile Push は Unica Deliver と統合されているため、Unica Deliver 実行エンジンに接続してモバイルプッシュを送信できます。

About this task

この手順を開始する前に、[タッチポイント on page 17](#) を参照してください。

Mobile Push タッチポイントを構成するには、次の手順を実行します。

1. Mobile Push タッチポイントをダブルクリックします。

Result

[プッシュ設定] ページが表示されます。

2. 次のフィールドに値を入力します。

- ・ **名前** - 必須。
- ・ **説明** - 必須ではありません。

3. **[次]** をクリックします。

Result

[アプリケーションの選択] ページが表示されます。

4. 必要なアプリケーションを選択します。検索バーを使用して、必要なアプリケーションを見つけることができます。



Note: アプリケーションの選択は、プッシュ テンプレートの作成中に配信によって処理されるため、機能に影響を与えることはありません。通知の送信中、通信用のアプリの選択は、配信テンプレートの作成中に選択された配信によって考慮されます。

5. [次へ] をクリックします

Result

[テンプレートの選択] ページが表示されます。

6. 必要なテンプレートを選択します。複数のテンプレートがある場合は、検索バーを使用して必要なテンプレートを見つけます。
7. [次] をクリックします。

Result

マッピング ページが表示されます。

8. フィールドを適切な Journey フィールド (Journeycreation 中に Journey に関連付けられたデータ定義から取得) にマップします。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。



Note: XID パラメータは、Mobile Push の Journey 関連データ定義で PushId タイプ フィールドをマップするための必須フィールドです。

Journeyコントロール

Journey顧客への連絡前または顧客の応答後に条件を設定して実行するアクションを制御します。

About this task

タッチポイントを設定したら、タッチポイントまたはタッチポイントの応答に条件を適用できます。Journeyコントロールには、次のアクションが含まれます。

- **Decision Split**
- **Engagement Split**
- **参加**
- **遅延**
- **公開**
- **データベース**

Journeyたすには次の手順を実行します。

1. Decision Splitコントロールを追加するには、[Decision Splitコントロールの構成 on page 28](#)を参照してください。 .
2. Engagement Split コントロールを追加するには、以下を参照してください。[Engagement Splitコントロールの構成 on page 27](#) .
3. 結合コントロールを追加するには、[Joinコントロールの構成 on page 26](#)を参照してください。 .
4. 遅延コントロールを追加するには、[遅延制御の構成 on page 26](#)を参照してください。 .
5. パブリッシュコントロールを追加するには、[公開の構成 on page 31](#)を参照してください。 .

遅延制御の構成

遅延を追加することは、タッチポイントを特定の日時にスケジュールすることに似ています。

About this task


遅延は、Journeyの作成中に設定されたタイムゾーンによって異なります。詳細については、[Journeyの作成 on page 15](#)を参照してください。


遅延を構成するには、次の手順を実行します。

1. パレット内のコントロールパネルからJourney、追加されたタッチポイントの前後に**遅延**コントロールをドラッグとドロップします。タッチポイントの追加については、[タッチポイント on page 17](#)を参照してください。
2. **遅延**コントロールをダブルクリックします。

Result

[**遅延の設定**]ダイアログが表示されます。

3. 次の値を指定します。
 - a. 適切な**名前**を入力します。名前は必須です。
 - b. 適切な**説明**を入力します。説明はオプションです。
 - c. [**期間**]を選択するか、[**待機日**]を選択するか、[**待機日**] (**[データ定義]フィールド別**) を選択して、適切な値を入力します。
-  **Note:** [データ定義]フィールドで、必須フィールドとして日付がある場合、遅延制御を日付に設定できます。
- d. [**式を使用**]チェックボックスがオフの場合、ドロップダウンのある[**フィールドを選択**]**のみが使用可能です**。[式を使用する]チェックボックスがオンになっている場合は、[**選択**]フィールドとともに、[**演算子**]と[**日数**]を選択して遅延を構成することもできます。
 - e. [**完了**]をクリックします。

 **Note:** Journeyが遅延していて、遅延期間を更新すると、**遅延の変更により、既存のすべてのオーディエンスが新しい設定日まで待機する可能性があるという警告メッセージが表示されます。続行してもよろしいですか?** 表示されています。

Joinコントロールの構成

Join コントロールを使用して、キャンバスの1つのブランチを別のブランチに結合または結合します。

About this task

例: メールを送信し、ユーザーを次のように分割するエンゲージメントコントロールを追加しました。

- **YES-** リンクをクリックしたユーザーの場合。
- **NO-** リンクをクリックしなかったユーザー向け。

同じで SMS エンゲージメント コントロールを既に作成している場合 JourneyCanvas では、顧客とやり取りするために、Join コントロールを使用して NO フローを SMS エンゲージメント コントロールへの エントリ ポイントとして接続し、SMS を介してそれらの顧客と通信できるようにします。



Note:

- Join が循環ループに陥った場合、ポップアップが表示され、警告が表示されます。
- フローの間に結合をドラッグ アンド ドロップすると、結合の下のフローが削除されることを示す確認ポップアップが表示されます。

Join コントロールを構成するには、次の手順を実行します。

1. Journey からパレットで、**Join** コントロールをドラッグし、コントロールの必要な YES または NO フローにドロップします。タッチポイントの追加については、[タッチポイント on page 17](#) を参照してください。
2. 追加した **Join** コントロールをソースから、フローをマージする宛先にドラッグします。

Engagement Split コントロールの構成

Engagement Split コントロールを使用して、応答した顧客とエンゲージメントします。また、応答していないユーザーの次の行動方針を決定することもできます。エンゲージメント分割で選択されたイベントに従って応答した顧客は YES パスに進み、残りの顧客は評価期間が終了した後に NO パスに進みます。

About this task

Engagement Split コントロールを構成するには、次の手順を実行します。

1. パレットから Journey、追加されたタッチポイントの後に **Engagement Split** コントロールをドラッグします。タッチポイントの追加については、[タッチポイント on page 17](#) を参照してください。
2. 追加した **Engagement Split** 要素をダブルクリックします。

Result

Engagement Split ダイアログが開きます。

3. 次のフィールドに値を入力します。
 - **名前** - 必須
 - **説明** - オプション
4. **Engagement Split** コントロールを追加するタッチポイントを選択します。選択できるのは、Engagement コントロールの上のタッチポイントのみです。オプションは次のとおりです。
 - **E-メール** - Engagement Split コントロールの上のすべてのメールタッチポイント。
 - **SMS** - Engagement split コントロールの上のすべての SMS タッチポイント。
 - **プッシュ** - Engagement Split コントロールの上のすべてのプッシュ タッチポイント。
5. 次のいずれかの手順を実行します。

- a. E-メール タッチポイントの場合、次のいずれかのイベントを選択します。
- **バウンス**-バウンスしたEメール IDの場合。バウンスイベントは、ハードバウンスイベントまたはソフトバウンスイベントの場合があります。
 - **開くメール**を開いた顧客向け。
 - **リンクをクリックしましたか?** -メール内のリンクをクリックしたお客様向け。

**Note:**

- デフォルトのメール接続としてMailchimpを選択した場合、Mailchimpはバウンスイベントをに送信しないため、**バウンスオプション**を選択しないでくださいUnica Journey。 **バウンスオプション**を使用する場合は、デフォルトのメール接続としてマンドリルを設定します。Mandrillコネクタの場合、Journeyはハードバウンスイベントとソフトバウンスイベントをサポートします。デフォルトのメール接続の設定については、[を参照してください。デフォルトの電子メール接続の設定する on page 62。](#)

- b. SMSタッチポイントの場合、次のいずれかのイベントを選択します。

- **送信済**
- **配信**

- c. プッシュ タッチポイントの場合、次のいずれかのイベントを選択します。

- PUSH_SENT
- PUSH_DELIVERED
- PUSH_READ

6. **[Track Link]** -[クリックされたリンク]オプションを選択すると、[配信]の場合、入力されたタッチポイントに関連付けられたテンプレートに存在するすべてのリンクが[Track Link]ファイルのドロップダウンに表示されます。Linkの場合、このフィールドはテキストフィールドとして表示されます。

7. 顧客が通信メッセージにアクセスできるように、次の評価期間のいずれかを設定します。

- **期間**-期間を日、時間、または分で設定します。デフォルトでは、Engagement Splitの評価期間の最小期間は30分です。
- **日付まで待つ**-期間を特定の将来の日付に設定します。デフォルトでは、翌日の日付が選択されています。

デジジョンスプリット、エンゲージメントスプリット、および遅延コントロールの場合、[遅延評価期間の最大日数]プロパティに入力された値は、[期間]フィールドと[待機日]フィールドの両方に適用されます。このプロパティは、Journey tab、**Journey > Journey_Configurations > Journey_Waittime_Configurations**下のプラットフォーム構成で使用可能です。待機日数は1日未満にすることはできません。期間および待機日フィールドでサポートされる値は、遅延/評価期間のプロパティ最大日数で設定された値を超えることはできません。たとえば、最大待機日数として50日が設定されていて、ユーザーが50日と20時間を入力すると、エラーメッセージが表示されます。**期間**または**待機日**が経過すると、Journeyは、選択したタッチポイントに対してイベントが生成されていないと見なします。

8. **[完了]**をクリックします。

Decision Splitコントロールの構成

デジジョンコントロール（デジジョンスプリット）を使用して、エントリソースデータに条件を追加します。条件を満たすレコードは**YES**パスを流れ、残りのレコードは**NO**パスを流れます。

About this task

条件を使用して、いくつかのビジネス要件条件でタッチポイントの動作を自動化します。ビジネス要件には、年齢、給与などに基づいて顧客のリストをフィルタリングすることが含まれます。

Decision Splitコントロールを構成するには、次の手順を実行します。

1. Journeyパレットから、**Decision Split**コントロールをドラッグとドロップします。

Result




Note: キャンバス上の既存の要素間で**Decision Split**をドラッグアンドドロップすると、確認ダイアログが表示されます。残りのフローを**YES**フローまたは**NO**フローのどちらに追加するかを確認します。

2. **Decision Split**コントロールを構成するには、キャンバス上のコントロールをダブルクリックします。

Result

Decision Splitページが表示されます。

3. **Decision Split**コントロールを構成するには、次の手順を実行します。

- a. 適切な**名前**を入力します。名前は必須です。
- b. 適切な**説明**を入力します。説明はオプションです。
- c. トグルボタンを使用して、条件を**OR**または**AND**として設定します。デフォルトでは、条件は**AND**に設定されています。選択は、グループ内のすべてのルールに適用されます。選択した条件は、グループに複数のルールを追加した場合にのみ適用されます。
- d.  **Note:** グループには1つ以上のルールが含まれます。ルールには、検証する条件のフィールド、条件、および値があります。少なくとも1つのグループを構成する必要があり、グループには少なくとも1つのルールが含まれている必要があります。

最初のドロップダウンボックスでデータフィールド（[データ定義]フィールドと同じ）を選択し、2番目のドロップダウンボックスで条件を選択し、3番目のテキストボックスに値を入力して、ルールを作成します。

Decision Splitを構成する場合、使用可能な演算子は、データタイプフィールドのデータ定義に基づいて表示されます。文字列、数値、および日付フィールドには異なる演算子があります。

Decision Splitで日付を構成するには、日付フィールドの形式がデータ定義の日付形式と一致している必要があります。日付形式が一致しない場合、Decision Split構成は失敗します。

- e. グループにルールを追加するには、[**+ルールの追加**]を選択します。ルールを削除するには、ルールに続く**X**を選択します。
- f. グループを追加するには、[**+グループの追加**]を選択し、ステップcからステップeを実行します。親グループでは、サブグループに5つのレベルのネストが許可されます。ただし、同じレベルで任意の数のグループを追加できます。
- g. グループを削除するには、[**グループの削除**]を選択します。

**Note:**

- グループを削除できるのは、グループが複数ある場合のみです。デフォルトでは、意思 Decision Splitコントロールには、少なくとも1つのルールを持つ少なくとも1つのグループが含まれている必要があります。
- グループにネストされたサブグループがあり、削除する親グループを選択すると、サブグループも削除されることを警告する確認ボックスが表示されます。

h. 顧客が条件が満たされるのを待つために、次の評価期間のいずれかを設定します。

- 期間-期間を日、時間、または分で設定します。デフォルトでは、意思決定評価期間の最小期間は5分です。
- 日付まで待つ-期間を特定の将来の日付に設定します。デフォルトでは、翌日の日付が選択されています。

期間または待機日が経過すると、Journeyは、選択された決定が分割された構成済みの条件を満たすデータがないと想定し、JourneyのオーディエンスはNOパスに移動します。

条件を満たすオーディエンスは、すぐに「はい」パスに移動されます。

i. **Decision Split**を保存するには、**[完了]**を選択します。



Note: ユーザーが Journey エントリ ソースに日付を入力し、日付・年が2桁で示されている場合、Journeyはこの年を現在の世紀と見なします。たとえば、日付を DD/MM/YY - 10/12/22 - の形式で送信すると、その年は 2022 年と見なされます。前世紀の Journey を処理するために任意の日付を送信する必要がある場合(例: 04/031982)、YYYY 形式で明示的に指定する必要があります。



Note: Journeyは、必須ではないフィールドのデータ値を解釈しておらず、常に任意の値の文字列と見なされます。したがって、nullはデータベースでnullと見なされ、nullのマイルストーン条件は、そのフィールドが入力がない場合にのみ評価されます。同じことがマイルストーンとマイルストーン分析にも当てはまりません。

オーケストレーション

Journey Orchestrationは、Journeyのデータを他のアプリケーションと共有するために実行されるアクションを扱います。

About this task

Journeyオーケストレーションには、以下のアクションが含まれます。

- 公開
- データベース
- Rest API

Journey オーケストレーション を設定するには、次の手順を実行します。

1. Publishを設定するには、[公開の構成 on page 31](#) を参照してください。
2. Databaseを設定するには、[データベースの設定 on page 31](#) を参照してください。
3. Rest APIを設定するには、以下を参照してください。[Rest APIの設定 on page 32](#)

公開の構成

Publishオーケストレーションを使用して、特定の段階で連絡先の詳細を保存します。これらの連絡先の詳細を分析に使用したり、CSVファイルとKafkaエントリソースを他のJourneyで再利用したり、その他のアクションに使用したりできます。

About this task

公開コントロールは、特定の段階でオーディエンス情報を収集し、この情報をCSVファイル、Kafkaエントリソース、またはKafkaトピックに投稿します。ファイルには保存されますJourneyサーバー（エンジン）。ファイルパスは、`application.properties`のファイル内の`spring.entity.files.upload.defaultPath`プロパティで構成されます。JourneyエンジンとJourneyweb、およびパスは同じである必要がありますJourneyエンジンとJourney web。のデフォルトの出力場所Journeyファイルは<JOURNEY_ENGINE_HOME> / Filesです。

公開コントロールを構成するには、次の手順を実行します。

1. からJourneyパレット内のコントロールパネルで、**公開**コントロールをCanvasの必要な部分にドラッグアンドドロップします。

Result

[公開]ダイアログが表示されます。

2. 次のフィールドに値を入力します。
 - **名前**-必須
 - **説明**-オプション
3. 連絡先を保存するには、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **CSV**-データ定義で構成されたフィールドがCSVファイルにエクスポートされます。新しいCSVファイル名を指定するか、既存のCSVファイルの名前を入力することができます。既存のファイルを選択すると、データが既存のファイルに追加されます。
 - **Kafka > エントリソース**-単一の発行コントロールを使用して、最大10個のKafkaエントリソースを構成できます。Journeyに関連付けられているKafkaエントリソースは、パブリッシングJourneyコントロールでKafkaエントリソースを構成している間はリストされません。Journeyのために、Kafkaエントリソースが公開で構成されている場合Journey制御し、同じKafkaエントリソースが他のJourneyに関連付けられている場合、データは、構成されたデータ定義に従って、選択されたJourneyに対して処理されます。
 - **Kafka > トピック**-サードパーティアプリケーションで使用するために、Kafkaトピックに関するオーディエンス情報を投稿します。トピックに適切な名前を付けてください。トピックはKafkaサーバーに保存されます。Kafkaトピック名の長さは最大50文字で、`AZ`、`az`、`0-9`、ピリオド（`.`）、アンダースコア（`_`）、およびハイフン（`-`）が必要です。
4. **[保存]**をクリックします。

データベースの設定

データベース行の挿入/更新/削除や生シーケルの更新により、他のシステムとのオーケストレーションを可能にする。これは、Journeyのすべてのレコードに対して実行されます。

About this task

データベースを設定するには、次の手順を実行します。

1. パレット内のJourney コントロールパネルから、**データベース**コントロールをキャンバス上の必要な部分にドラッグ & ドロップします。

Result

データベース構成ダイアログが表示されます。

2. 次のフィールドに値を入力します。

- **名前**-必須
- **説明**-オプション

3. **[次]**をクリックします。

Result

「新規アクションの作成」 ページが表示されます。

4. デフォルトのデータベース接続は、「既存の接続」フィールドに反映されます。また、データベースの定義されたプロパティは、それぞれのプロパティフィールドに反映される。利用可能な接続から必要な接続を選択します。

5. **[次]**をクリックします。

Result

[フィールド マッピング]ページが表示されます。

6. **データベース フィールド**を**Journey フィールド**にマップします。
7. **[保存]**をクリックします。

Rest APIの設定

About this task

Rest API Orchestrationを使用して、Journeyフィールドをペイロードとして他のアプリケーションに送信する。

Rest APIを設定するには、次の手順を実行します。

1. パレット内のJourney コントロールパネルから、**Rest API**コントロールをCanvas上の必要な部分にドラッグとドロップします。

Result

Rest API 構成ダイアログが表示されます。

2. 次のフィールドに値を入力します。

- **名前**-必須
- **説明**-オプション
- **Rest URL** - データを受け取る API を提供します
- **API詳細** - APIメソッドと認証機構を選択します。APIメソッドは3つあります。
 - **GET** - 残りのURLで設定された宛先エンドポイントからデータを取得するために使用されます。
 - **POST** - データの公開に使用されます。
 - **PUT** - レコードの公開/更新に使用されます。

認証の仕組みは、**Basic**、**API Key**、**Oauth**、**None**の4種類です。

Result

選択されたAPIメソッドと認証メカニズムに基づき、以下のフィールドが表示されます。

基本認証の仕組みを選択した場合、「**認証するための情報を入力してください**」セクションが表示され、「ユーザー名」と「パスワード」のフィールドが表示されます。

[**API キー認証メカニズム**] を選択すると、「**認証する資格情報を入力**」セクションが [キー名] フィールドと [キー値] フィールドと共に表示されます。

[**Oauth認証メカニズム**] を選択すると、「**認証する資格情報を入力**」セクションが表示され、[ユーザー名]、[パスワード]、[クライアント ID]、[クライアント シークレット]、および [トークン URL] フィールドが表示されます。

[**認証メカニズムなし**] を選択した場合、承認の詳細は必要ありません。

3. **[次]** をクリックします。

Result

リクエストペイロード] ページが表示されます。

4. Rest APIの種類を **JSON** または **XML** から選択し、ペイロードを追加します。参考のため、**Sample Payload** をクリックしてください。



Note: **Request Payload**画面は、**POST**および**PUT**APIメソッドで利用可能です。**GET**の場合、フィールドは無効のままです。

5. **[次]** をクリックします。

Result

応答フィールドのマッピング] ページが表示されます。

6. ドロップダウンから **JourneyFields** を選択し、**Response Fields** に目的地システムから受け取った応答を記載します。



Note: レスポンス マッピングは、GET API メソッドには必須ですが、POST および PUT API メソッドには必須ではありません。

応答は、次の 5 つのクラスにグループ化されます。

- a. 情報応答 (100 ~ 199)
- b. 成功した回答 (200–299)
- c. リダイレクト (300–399)
- d. クライアントエラー (400–499)
- e. サーバーエラー (500–599)

7. **保存**] をクリックします。

Result

Rest APIはJourneyに設定され保存されます。

Journey出品ページの操作

Journey一覧ページは 4 つのタブに分かれています。

- 公開済み
- ドラフト

- 一時停止
- 完了

リストページJourneyのフィールド

Journeyの一覧ページは4つのタブに分割されており、各タブはそれぞれJourneyのステータスを表しています。各タブには、独自のフィールドリストがあります。一部のフィールドはデフォルトフィールドです。

[公開済み] タブのフィールド

次の表に、公開されたJourneyの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示します。

Table 3. [公開済み] タブのフィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	はい
作成者	No
関連するデータ定義	No
説明	No
関連するエントリソース	No
目標の進捗	はい
最終更新者	No
最終更新日	はい
マーケティング段階	はい
名前	はい
公開	はい

下書きタブのフィールド

次の表に、ドラフトJourney リスト ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示します。

Table 4. 下書きタブのフィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
作成者	No
作成日	No
コード	はい

Table 4. 下書きタブのフィールド (continued)

フィールド名	デフォルトフィールド?
関連するデータ定義	はい
説明	No
関連するエン트리ソース	はい
最終更新日	はい
最終更新者	No
マーケティング段階	はい
名前	はい

一時停止タブのフィールド

次の表は、一時停止したJourneyの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示しています。

Table 5. 一時停止タブのフィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	はい
作成者	No
関連するデータ定義	No
関連するエン트리ソース	No
説明	No
目標の進捗	No
最終更新者	No
最終更新日	はい
マーケティング段階	はい
名前	はい
一時停止	はい
公開	No

[完了] タブのフィールド

次の表は、一時停止したJourneyの一覧ページで使用できるすべてのフィールドとカスタマイズ可能なフィールドを示しています。

Table 6. [完了] タブのフィールド

フィールド名	デフォルトフィールド?
コード	はい
完了日	はい
作成日	No
関連するデータ定義	No
説明	No
関連するエントリソース	No
目標達成	はい
最終更新者	No
マーケティング段階	はい
名前	はい
公開	No

Journeyでリストされた列を追加または削除します

公開されたJourney、ドラフトJourney、一時停止されたJourney、および完了したJourneyのリストページから列を追加または削除できます。

Before you begin

- [公開されたJourney] タブのフィールドの詳細については、次Table 3: [公開済み] タブのフィールド on page 34を参照してください。 .
- [ドラフト Journey] タブのフィールドの詳細については、次Table 4: 下書きタブのフィールド on page 34を参照してください。 .
- [一時停止したJourney] タブのフィールドの詳細については、次Table 5: 一時停止タブのフィールド on page 35を参照してください。 .
- [完了したJourney] タブのフィールドの詳細については、次Table 6: [完了] タブのフィールド on page 36を参照してください。 .

About this task

でフィールド ビューをカスタマイズするにはリスト ページで、次のJourney手順を完了します。

1. [列の追加/削除] を選択します。
2. 追加または削除するフィールドを選択または選択解除します。デフォルトのフィールドを表示するには、[デフォルトにリセット]をクリックします。
3. [適用]をクリックして選択を保存します。

Journeyをインポート

Journey一覧ページから、Journeyをインポートすることができます。

About this task

Journeyをインポートするには、次の手順を実行します。

1. **インポートJourney**をクリックする

Result

検索ウィンドウが表示されます。

2. システムからインポートする必要な**crc**および**zip**ファイルを選択します。



Note: zipファイルのみ、またはcrcファイルのみを選択した場合、「開く」時に「少なくとも2つのファイルを選択してください」というエラーメッセージが表示され、**続行**できません。

3. 「**開く**」をクリックする

Result

Journey ファイルが正常にインポートされました。

Journey がインポートされると、**Journeyが正常にインポートされました**というポップアップが表示されます。

ポップアップに**Journeyの名**と**Location**が表示されます。**[Journeyを表示]** ボタンをクリックして、インポートされたJourneyを表示します。インポートされたJourneyは、ドラフトJourneyの下のJourney一覧ページに表示されます。

4. インポートするたびに、以下の詳細がソースのJourneyからターゲットのJourneyにコピーされます。
 - ソース システムと同じエントリ ソースは、新しいエントリ ソース コードで作成されます。
 - ソースシステムと同じデータ定義が、新しいデータ定義コードで作成されます。
 - Journey - フォルダー構造、名前、説明などのJourneyの詳細がコピーされます。すべてのリンクおよび配信タッチポイントについて - 名前と説明はコピーされますが、リンクインスタンスがターゲット環境で異なる可能性があるため、タッチポイントは未設定のままです。メールテンプレートは、それぞれDeliverに割り当てられません。
 - エンゲージメント・スプリット - インポート後、テンプレートが配信タッチポイントに割り当てられないため、配信の場合のリンククリックのドロップダウンを除き、すべての詳細がコピーされます。
 - Journeyのマイルストーンがコピーされます。各マイルストーンに関連するエントリソースは、マイルストーン条件と一緒にコピーされます。
 - すべてのJourney Goalがコピーされます。Deliverの場合、リンククリックのドロップダウンはコピーされません。
 - Journey De Duplication の設定はそのままコピーされます。



Note: オファー統合の設定やパーティションの設定はコピーされません。

- 一度にエクスポートできるJourneyは1つだけです。ただし、エクスポートされた同じファイルを使用して、ターゲットシステムでJourneyを複数回インポートできます。(これにより、Journeyがインポートされるたびにエン트리ソースとデータ定義が再度作成されます)



Note: ユーザーがCRMタッチポイントを使用したJourneyを構成し、目標を構成している場合。Journeyがターゲットシステムにインポートされると、ターゲットシステムでCRMタッチポイントを再度構成して、エラーなしで目標の編集ページにアクセスする必要があります。



Note: Journeyをインポートするには、Journeyの作成権限が必要です。

詳細の変更Journey

JourneyからJourneyリストページの詳細を変更できます。

About this task

編集規則は次のとおりです。

- すべてのフィールドとJourneyドラフト状態のJourneyのキャンバス。
- [公開済み] 状態、[一時停止] 状態、または [完了] 状態のJourneyの [名前] フィールド、[説明] フィールド、およびフォルダーの場所のみを変更できます。
- Journeyキャンバスは、ドラフトおよび一時停止状態のJourneyに対して編集可能になります。
- Journeyキャンバスは、完了済みおよび公開済みの状態のJourneyでは編集できません。
- ドラフトおよび一時停止状態のJourneyのエン트리ソースを追加できます。

Journey詳細は中からJourneyキャンバスを変更することもできます。詳しくは、『』を参照してください。

Journeyを変更するには、次の手順を完了します。

- カーソルを必要なJourney.
- > アイコンを選択します。または、Journey名前をクリックします。
- 必要な変更を行う。詳しくは、『[Journeyの作成 on page 15](#)』を参照してください。
- 変更を保存するには、**Journeyの更新**をクリックします。

Journeyを別のフォルダーに移動する

一覧ページからのみJourneyを移動できます。Journeyは [フォルダー] ページでのみ表示できます。

About this task

1つまたは複数のJourneyを移動するには、次の手順を実行します。

1. 次のいずれかの方法を使用します。
 - a. シングルを移動するにはJourney、必要な旅の上にカーソルを置いて選択することができます > 、または必須の前にあるチェックボックスを選択しJourneyをクリックし、**[フォルダに移動]**をクリックします。
 - b. 複数のJourneyを移動するには、必要なJourneyの前にあるチェックボックスを選択し、**[フォルダーに移動]**をクリックします。
2. 必要な宛先フォルダーを選択し、**[ここに移動]**をクリックします。

Journeyをエクスポートする

Journeyの一覧ページから、Journeyをエクスポートすることができます。ユーザーは、任意の状態（公開済み、ドラフト、一時停止、または完了）でJourneyをエクスポートできます。

About this task

Journeyをエクスポートするには、次の手順を実行します。

必要なJourneyにカーソルを合わせて >

Result

crcファイルとzipファイルがダウンロードされます。

Journeyキャンバス画面からJourneyをエクスポートすることもできます。詳しくは、以下を参照してください。

Journeyの削除

Journeyを削除するには、または複数のJourneyにJourneyリストページのアクセスする必要があります。ドラフト状態のJourneyのみを削除できます。

About this task

Journeyを削除することもできますJourneyキャンバス。詳しくは、『』を参照してください。

Journeyを削除するには、または複数のJourneyの場合、次の手順を完了します。

次のいずれかの方法を使用します。

- a. Journeyを削除するには、カーソルを必要なJourneyそして選択 > 、または必須の前にあるチェックボックスを選択しJourneyをクリックして **[削除]** をクリックします。
- b. 複数のJourneyを削除するには、必要なJourneyの前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]** をクリックします。

複製Journey

Journey一覧ページまたはキャンバスページJourneyからでもJourney次のいずれかを複製できます。Journeyを複製できます任意の状態（下書き、公開、一時停止、または完了）。複製されたJourneyのステータスは、最初はドラフト状態になります。

About this task

Journeyでの複製を作成するには、次の手順を完了します。

1. Journeyリストページには次のいずれかのタブを選択します。:

- 公開済み
- ドラフト
- 一時停止
- 完了

2. そして必要なJourney選択します > .

Result

DuplicateJourneyダイアログが表示されます。

3. 適切な名前を付けて、[保存] をクリックします。

Journey設定または重複排除

About this task

Unica Journeyファイル、REST、Kafka、Unica Campaign、Unica Interact、Unica Discover などの複数のエントリソースから入力を受け取ります。場合によっては、既存のオーディエンスレコードが同じJourney複数回。例えば、Unica Campaign Kafka を使用するタイプのエントリソースは、フローチャートの各実行から同じオーディエンス情報をJourney. 同様に、REST またはファイルベースのエントリソースも同じオーディエンスレコードをJourney.Journey設定使用できて重複レコードを識別し、重複レコードに対して実行するアクションを指定するための。利用可能なアクションは、重複を削除するか、既存のレコードを新しいデータで更新することです。


重複排除は、データ定義の必須フィールドで機能します。この設定は、ドラフト状態のJourneyにのみ追加できます。

連絡先の重複排除を設定するには、次の手順を実行します。

1. Journeyのために、Journeyキャンバス画面で、[その他のアクション >] [設定] をクリックします。

Result

[Journey設定] ページが表示されます。

2.  **CAUTION:** 一度選択したオプションを変更することはできません。Journeyが公開されています。

以下のいずれかのオプションを選択します。

Choose from:

- **連絡先の重複を許可** - 連絡先の重複を許可する場合は、このオプションを選択します。これはデフォルト設定です。

例: 電子メール ID john.doe@example.com が既に存在する場合、同じ電子メール ID を持つ別のエントリは新しいレコードと見なされます。

- **連絡先の重複を許可しない** - 連絡先の重複を許可しない場合は、このオプションを選択します。
 - a. [フィールドの選択] オプションで、前述の必須フィールドを選択します。データ定義 on page 11 重複する連絡先を認識するための ID を指定します。をクリックして余分なフィールドを追加します。クリック追加されたフィールドを削除します。フィールドの選択の詳細については、データ定義 on page 11 を参照してください。
 - b. 重複する連絡先に対する次のアクションのいずれかを選択します。

- **連絡先を破棄** - 新しい重複が見つかった場合は破棄します。たとえば、電子メール ID john.doe@example.com が既に存在する場合、エントリに同じ電子メール ID が含まれている場合、新しいエントリは破棄されます。
- **既存の連絡先を更新** - 既存の連絡先を新しく見つかった重複で更新します。たとえば、レコードに名前、住所、電子メール ID、および性別があり、電子メール ID が重要なフィールドで、性別がオプション フィールドである場合、性別に値を追加してレコードを更新すると、システムは電子メール ID は同じですが、性別フィールドの値が以前に存在しなかったため、システムは既存の連絡先を更新します。

c. [保存して閉じる] をクリックします。

Journey 目標

About this task

Journey アプリケーションは、Journey で目標を設定する機能を提供します。目標は、日付ベース、コンタクト/レスポンスベース、売上ベースがあります。次の Journey ステージに対して、日付ベース、コンタクト/レスポンスベース、売上ベースの目標いずれかの目標を設定できます: Draft (下書き)、Paused (一時停止)、Published (公開)。目標の追加/編集ページでは、「タッチポイントの選択」ドロップダウンリストに、キャンバスに設定されたすべてのメールと SMS のタッチポイントのリストが表示されます。


- メール用 - メール送信、メール開封、リンククリックのイベントをサポートします。
- SMS の場合 - SMS 送信および SMS 配信イベントをサポート
- プッシュの場合 - プッシュ送信、プッシュ配信、プッシュ読み取りイベントをサポート



Note: 複数の目標を追加できます。1 つの Journey に最大 15 の目標を追加できます。また、売上に応じた目標を設定することも可能です。

日付ベースの目標

日付ベースの目標では、目標日が達成されると、Journey が**完了**と表示されます。日付ベースの目標を設定するために、Journey で設定した最大遅延を計算するための特定の検証が提供され、マーケティング担当者は設定した最大遅延より大きい目標日を設定することができます。一度目標として目標日が設定されると、ユーザーは目標日を減らすことはできません。ユーザーは目標日を増やすことしかできません。ユーザーは、任意の時点で日付ベースの目標をリセットし、新しい目標を追加することができます。

	 Note: 1つのJourneyには、日付ベースの目標を1つだけ追加することができます。
<p>コンタクト / 回答ベースの目標</p>	<p>コンタクト/レスポンスベースの目標を追加するには、タッチポイントを設定し、Journeyに保存する必要があります。頻度がオフの場合、「MarkJourney目標が達成されたときに完了した場合」チェックボックスが使用できます。チェックボックスをオンにすると、タッチポイントとそのイベントでコンタクト/レスポンスベースに基づく目標が達成されると、Journey、「Complete (完了)」とマークされます。</p> <p>頻度がオフの場合、MarkJourney目標が達成されたときに完了した場合チェックボックスは使用できず、タッチポイントのコンタクトベースのターゲットが達成された後も、Journeyは公開状態で実行され、すべてのイベントを捕捉し続けます。デフォルトでは週単位のオプションが選択されていますが、日単位、月単位、四半期単位に変更することができます。</p>
<p>売上ベースの目標</p>	<p>売上ベースの目標を追加するには、CRM/Salesforceのタッチポイントを設定し、Journeyに保存しておく必要があります。売上ベースの目標は、リードの目標を設定することで作成されます。頻度がオフの場合、MarkJourney目標が達成されたときに完了した場合」チェックボックスが利用できます。チェックボックスをオンにすると、タッチポイントとそのイベントの売上目標が達成されると、Journey、「Complete (完了)」とマークされます。売上ベースの目標のトラッキングパラメータは、選択オブジェクトがリードまたはコンタクト、アクションが作成または更新のいずれかになる以外は、日付ベースおよびコンタクト/レスポンスベースの目標と同じです。</p> <p>頻度がオンの場合、MarkJourney目標が達成されたときに完了した場合チェックボックスは使用できず、タッチポイントの売上目標が達成された後も、Journeyは公開状態で継続され、すべてのイベントがキャプチャされます。デフォルトでは週単位のオプションが選択されていますが、日単位、月単位、四半期単位に変更することができます。</p>



Note: 日次、週次、月次、四半期別の目標頻度は、標準カレンダーに準ずるものとします。すべての計算は、Journey イムゾーンの設定に従って行われます。

Journey が下書きの段階であれば、ユーザーは目標を日付ベースからコンタクト/レスポンスベースや売上ベースに切り替えることができ、その逆も可能です。

Journey 目標を追加したり、Journey 目標を編集したりするには、次の手順を実行します。




Note: ゴールを追加する前に、Journey キャンバスにタッチポイントが設定されていることを確認します。

1. Journey の場合、Journey キャンバス画面で、「**目標の追加/編集**」をクリックします。

Result

[**目標の追加/編集**] ダイアログが表示されます。

2. 日付を基準に目標を設定するには、「**日付**」を選択し、次の手順を実行します。
 - a. [**目標のターゲット日**] フィールドには、将来の日付と時刻を設定します。
日付ベースのゴールは、Journey 作成時に設定されたタイムゾーンに依存します。デフォルトでは、翌日の日付と時刻を表示します。
3. 回答した連絡先の数に基づいて目標を設定するには、「**連絡先の数**」を選択し、次の手順を実行します。
 - a.  **Note:** タッチポイントの**選択** フィールドと [**イベントの選択**] フィールドに値を表示するには、タッチポイントを追加する必要があります。タッチポイントを追加しない場合、ドロップダウンには何も値がありません。

タッチポイントを選択し、対応する**イベント**を選択します。

- b. Deliver の場合、クリックリンクオプションを選択すると、入力したタッチポイントに関連するテンプレートに存在するすべてのリンクが、「**リンクの選択**」フィールドのドロップダウンに表示されます。Link の場合、このフィールドはテキストフィールドとして表示されます。電子メールタッチポイントでは、イベントフィールドドロップダウンでEmails_OpenとEmail_Sentのオプションが利用可能です。SMS タッチポイントでは、イベントフィールドドロップダウンにSMS_DeliverとSMS_Sentのオプションが用意されています。
- c. **ターゲット**フィールドに正の数値を追加する。Journey の目標が入力された値を満たすと、Journey が目標を達成したことを示す表示になります。Journey、継続することも、閉鎖することも可能です。
- d. マークしたい場合 Journey 完了したら、**ターゲット**の目標が達成されたら、チェックボックスを選択します **マーク Journey 目標が達成された時点で完了**。

複数の目標を見る

新しい目標を追加すると、Journey の既存の目標のリストが表示されます。各目標には、画面左側に目標名が表示され、目標の種類、頻度、目標、達成度などの詳細が表示されます。画面右側には、ゴールトラッキングの詳細が表示されます。目標名をクリックすると、ドーナツグラフで目標達成状況を表示します。目標の進捗状況（目標達成度）に応じて、ドーナツチャートの色を変えて表示します。

- 100%-フルダークグリーン
- 1010 = 明るい緑
- 50%以上 - 黄

- 25%以上 - オレンジ
- 25%以下 - 赤

目標を編集

Journeyがドラフト段階の場合、目標全体(目標名、目標タイプ、頻度、および目標ターゲット)を編集できます。Journeyが公開済みまたは一時停止中の場合、編集できるのは目標名と目標ターゲットのみです。編集モードでは、日付ベースの目標について、ユーザーは既存の日付より大きい日付のみを選択できます。非頻度ベースの目標を編集しているときに、目標達成数が目標値以下の場合、目標達成時にJourneyを完了としてマークするチェックボックスをオンにすると、目標達成数と目標値を達成できないというエラーが表示されます。同じであること。目標値を上げる。



Note: フリークエンシー目標の編集、一時停止、および公開モードでは、目標ターゲットの値を増減できますが、フリークエンシー以外の目標の場合、目標ターゲットの値は増やすことしかできません。



Note: 目標の過去のパフォーマンスを表示したり、目標を編集したりできます。データはJourney タイムゾーン (TZ 文字列) で記録されます。

Journey統計

JourneyがPublishまたはCompletedになると、Journey統計情報を見ることができます。

Journey連絡先の統計

スタート地点にカーソルを合わせると、様々なエントリースource Journeyからエントリーしたコンタクトの統計情報を見ることができます。

分野	説明
連絡先	エントリーソースごとの、承認または拒否されたJourneyコンタクトの数。 .
合計	Journeyによって承認または拒否されたすべてのエントリーソースからのコンタクトの総数。 .

Journeyタッチポイントの統計

一度Journeyが発行済みまたは完了済みの場合、Journeyキャンバスに移動し、次のタッチポイントにカーソルを合わせて、Journey統計学

タッチポイント	提供される統計
Eメール	JourneyEメール タッチポイントに関する次の統計を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • 送信 • バウンスソフト

タッチポイント	提供される統計
	<ul style="list-style-type: none"> • バウンスハード • 開く • リンククリック • エラー
SMS	JourneySMS タッチポイントに関する次の統計を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • 送信済 • 配信 • リンククリック • エラー
Salesforce	JourneySMS タッチポイントに関する次の統計を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • 成功 • 失敗
Whatsapp	JourneyWhatsappタッチポイントの次の統計を提供します <ul style="list-style-type: none"> • 送信済 • 配信 • エラー • 読む
プッシュ	Journeyについて次の統計を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> • 送信済 • 配信 • 読む • 失敗

Journey Journey コントロールの統計

Journeyの開始点をクリックすると、視聴者の総数が表示されます。オーディエンスは、承認済み(アクションが実行される有効なデータ)と拒否済み(無効/不正確なデータ)の両方のセクションに分かれています。タッチポイントをクリックすると、オーディエンス エントリ ソースのリストと合計リストが表示されます。さらに、個々のステータス番号をクリックすると、ポップアップが表示され、異なるブランチに移動するレコードのデータ定義フィールドの詳細が表示されます。

メール アイコンをクリックすると、さまざまなチャンネル (Mailchimp と Mandrill) を介して送信されたメールの数が表示されます。



Note: カウントが0の場合、このリンクは無効にする必要があります。このページにはカスタムの並べ替えはありません。デフォルトでは、降順、応答の日時で並べ替えられます。ポップアップにはページネーションがありません。

公開コントロールの場合、コントロールの上にカーソルを置くと、保存されている連絡先の総数が表示されます。

Decision Split コントロールまたは Engagement Split コントロールの場合、次の数値が表示されます。

- コントロールに入る連絡先の数を含むコールアウト。
- **YES** フローの連絡先の数を含むコールアウト。
- **NO** フローのコンタクト数を含むコールアウト。

Journeyステータス

Journey下書き、公開、一時停止、完了の4つのステータスのいずれかになります。

公開されたJourneyを見る

公開Journey一覧ページには、選択したフォルダーにあるすべての公開Journeyがリストアップされます。

About this task

掲載Journey一覧ページでは、一連の操作を行うことができます。

1. 特定のフォルダーから公開されたJourneyを表示するには、[フォルダー内のアーティファクトが表示されます on page 74](#) を参照してください。
2. リストページにカラムを追加または削除するには、[Journeyでリストされた列を追加または削除します on page 36](#) を参照してください。
3. 公開されているJourneyを修正するには、[詳細の変更Journey on page 38](#) を参照してください。
4. 公開されたJourneyをあるフォルダから別のフォルダに移動するには、[Journeyを別のフォルダーに移動する on page 38](#) を参照してください。



Note: Journeyが公開され、オーディエンスがJourneyに入り始めると、Journeyの各タッチポイントで、これらのオーディエンスの統計が表示されます。その間に、ユーザーが一時停止してJourneyを更新し、Journeyの開始地点に新しいタッチポイントを追加して、再度パブリッシュする場合。そして、統計ビューのJourneyでは、新しく追加されたタッチポイントのカウントが追加された時点から表示され、ユーザーはこの最初のタッチポイント（スタートではない）と既存のタッチポイントを流れる異なるカウントを確認することができるのです。開始時および最初に追加されたタッチポイントのカウントは同じに表示されます。

ドラフトJourneyの表示

ドラフト Journeys リスト ページには、選択したフォルダーから公開されたすべてのJourneyが一覧表示されます。

About this task

ドラフト Journeys リスト ページで一連の操作を実行できます。

1. 特定のフォルダーからJourneyの下書きを表示するには、次フォルダー内のアーティファクトが表示されます on [page 74](#)を参照してください。 .
2. リストページにカラムを追加または削除するには、Journeyでリストされた列を追加または削除します on [page 36](#) を参照してください。
3. 下書きを修正するにはJourney、 [詳細の変更Journey on page 38](#)を見る。
4. ドラフトJourneyをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、以下[Journeyを別のフォルダーに移動する on page 38](#)を参照してください。 .
5. Journeyの下書きを削除するには、以下[Journeyの削除 on page 39](#)を参照してください。 .

一時停止したJourneyを表示する

一時停止したJourneyの一覧ページには、選択したフォルダーから一時停止したすべての一時停止したJourneyが一覧表示されます。

About this task

一時停止したJourneyリストページで一連の操作を実行できます。

1. 特定のフォルダーから一時停止したJourneysを表示するには、次フォルダー内のアーティファクトが表示されます on [page 74](#)を参照してください。 .
2. リストページにカラムを追加または削除するには、Journeyでリストされた列を追加または削除します on [page 36](#) を参照してください。
3. 一時停止したJourneyを変更するには、 [詳細の変更Journey on page 38](#)を見る。
4. 一時停止したJourneysをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、次[Journeyを別のフォルダーに移動する on page 38](#)を参照してください。 .

完了したJourneyを表示します

完了したJourneyの一覧ページには、選択したフォルダーからすべての完了したJourneyが一覧表示されます。

About this task

完了したJourney リストページで一連の操作を実行できます。

1. 特定のフォルダーから完了したJourneyを表示するには、次フォルダー内のアーティファクトが表示されます on [page 74](#)を参照してください。 .
2. リストページにカラムを追加または削除するには、Journeyでリストされた列を追加または削除します on [page 36](#) を参照してください。
3. 完成品を修正するにはJourney、 [詳細の変更Journey on page 38](#)を見る。
4. 完了したJourneyをあるフォルダーから別のフォルダーに移動するには、次[Journeyを別のフォルダーに移動する on page 38](#)を参照してください。 .

レポート

公開されたJourneyをクリックすると、Journeyの概要、パフォーマンス、目標、オーディエンスのアクティビティ/ログ、マイルストーンが表示されます。



Note: ユーザーはJourney分析のためにレポートページにアクセスできます。

要約

サマリータブをクリックすると、Journeyキャンバスが表示されます。画面上部にマイルストーンの詳細が表示されます。サマリータブをクリックすると、Journeyキャンバスが表示されます。画面上部にマイルストーンの詳細が表示されません。Journeyキャンバスのスタートアイコンにカーソルを合わせると、コンタクトの名前と、受付・拒否の合計数が表示されます。

メールのタッチポイントにカーソルを合わせると、送信数、ソフトバウンス数、ハードバウンス数、開封数、リンククリック数、エラー数を確認することができます。



Note: 電子メールのタッチポイントにマウスを置いたときに表示される電子メールリンクのクリック数が、パフォーマンスタブに表示される電子メールリンクのクリック数と異なっている。マウスホバーで表示されるカウントは、オーディエンスの合計数です。ただし、パフォーマンスタブには、メールリンクの実際のクリック数が表示されません。

SMSのタッチポイントにカーソルを合わせると、SMSの総送信数、配信数、リンククリック数、エラー数を知ることができます。カウントをクリックすると、そのカウントの詳細を表示するポップアップが表示されます。このポップアップは、Adtechタッチポイントでは表示されません。

Rest APIアイコンにカーソルを合わせると、送信回数、成功回数、エラー回数が表示されます。送信回数は、成功回数とエラー回数の合計となります。送信済みおよび成功数のハイパーリンクをクリックすると、**送信済みおよび成功**の詳細ページが呼び出されます。画面には、「日付と時間」「名前」「姓」「Eメールアドレス」「DOC」が表示されます。エラー数のハイパーリンクをクリックすると、**エラー**の詳細ページが表示されます。画面には、「日付と時刻」「エラーメッセージ」「名前」「姓」「Eメールアドレス」「DOC」が表示されます。

パフォーマンス

パフォーマンスタブをクリックすると、メールパフォーマンスとSMSパフォーマンスが表示されます。



Note: 性能評価のため、データはJourney・タイムゾーン（TZ文字列）で記録される

メールパフォーマンス: Journeyでのメールパフォーマンスを確認する。このセクションは、メールの送信、配信、クリックのパフォーマンス全般に関する情報を提供します。

- **Delivery**- あらゆるタッチポイントで送信されたメールの総数と、配信に成功したメールの数を表示します。
 - Deliveryタイルをクリックすると、「メールパフォーマンス - 合計配信数」ポップアップが表示されます。ポップアップには、タッチポイント、テンプレート名、チャンネル、送信済み、および配信済みの情報が表示されます。



Note: Deliverの場合、テンプレート名はすべてのチャンネルに表示されますが、Linkの場合、テンプレート名はMandrillで送信されるメールにのみ表示されます。

- **Open**- 任意のタッチポイントで送信された電子メールの総数と一意の開封数を表示します。これは、電子メールを開封した人の総数を意味しますが、電子メールを複数回開封した場合でも、1人を1回だけカウントします。
 - 開封数」タイルをクリックすると、「メールパフォーマンス - ユニーク開封数」ポップアップが表示されます。ポップアップには、次の情報、タッチポイント、テンプレート名、チャンネル、開封数が表示されます。
- **クリック数**- 各タッチポイントで送信されたメールの総数、およびユニーククリック数を表示します。
 - 開封数」タイルをクリックすると、「メールパフォーマンス - ユニーク開封数」ポップアップが表示されます。ポップアップには、次の情報、タッチポイント、テンプレート名、チャンネル、リンク、およびクリックが表示されます。

この各情報には、配信されたメールの割合、一意の開封数、および一意のクリック数を示す円グラフ表現があります。

- **平均統合時間**- メールの開封とクリックの時間を記録することで、平均統合時間を表示します。

SMSのパフォーマンスJourneyでのSMSのパフォーマンスを確認する。このセクションでは、送信および配信されたSMSの全体的なパフォーマンスに関する情報を提供します。

- **Delivery**- 任意のタッチポイントで送信されたSMSの総数と、正常に配信されたSMSの数を表示します。

プッシュ パフォーマンス: Journey内のプッシュのパフォーマンスを確認するために、このセクションでは、送信されたプッシュの合計に対する、配信されたプッシュと開かれたプッシュの全体的なパフォーマンスに関する情報をユーザーに提供します。

リフレッシュ- 見る[共通機能キー on page 52](#)

エクスポートレポート- 参照[共通機能キー on page 52](#)

期間- 参照[共通機能キー on page 52](#)

その他のアクション- ドロップダウンに以下のオプションがあります。

- 詳細の表示 / 編集- 「Journeyの表示 / 編集」(32 ページ)を参照してください。
- 設定-[Journeyの設定 \(43ページ on page 40\)](#) をご参照ください。
- Journeyを完了としてマークする- 「Journeyを完了としてマークする (36ページ) 」を参照。
- 複製 -Journeyの複製 『33ページ』を参照

終了-これをクリックして、パフォーマンス画面を終了します

目標の追加/編集- 目標を追加または編集するには、「[目標の追加/編集 \(45ページ\) on page 43](#)」を参照してください。

一時停止と編集 Journeyを一時停止または編集するには、「Journeyの一時停止と編集『35ページ』」を参照してください。

目標

[目標] タブをクリックして、目標の進捗レポートを表示します。目標を追加すると、各目標の進捗状況がグラフ形式で表示されます。ここでは、目標ターゲット、目標完了、目標完了率 (%) についての情報を提供します。

画面右側にあるドロップダウンで目標を選択すると、それぞれの進捗状況グラフが表示されます。デフォルトでは、一番上のゴールが選択されます。

- 毎日
- 毎週
- 毎月
- 四半期

から期間と頻度を選択でき、選択した頻度に基づいて、目標の進捗状況をグラフ表示します。デフォルトでは、月次が選択されています。



Note: 日次、週次、月次、四半期目標のデータは、Journeyのタイムゾーン (TZ文字列) で記録されます。

というように、目標の種類に応じてグラフ / チャートが表示されます。

- 日付ベースの目標 - ドーナツチャート
- 頻度ベースの目標 - バーチャート
- 非頻度目標 - 折れ線グラフ



Note: このグラフは、ユーザーがJourneyで目標を作成または定義している場合にのみ表示されます。

オーディエンス

[オーディエンス] タブをクリックして、Journeyの一部となったオーディエンスの総数を表示します。グラフは、各エン트리ソースからの総受講者数および受講者数を表示します。[ソースの選択] ドロップダウンからエントリソースを選択できます。デフォルトでは、すべてのエントリソースが選択されています。画面右上には、最後に生成された日付と時刻が表示されます。また、期間と頻度を選択すると、それに応じてオーディエンスグラフが表示されます。デフォルトでは、月次が選択されています。



Note: データはJourneyタイムゾーン (TZ 文字列) で記録されます

リフレッシュ - 見る [共通機能キー on page 52](#)

エクスポートレポート - 参照 [共通機能キー on page 52](#)



Note: [オーディエンス] 画面に表示される Y 軸の範囲は、エクスポートレポートに表示されるものとは異なる場合があります。

期間- 参照 [共通機能キー on page 52](#)

その他のアクション- ドロップダウンに以下のオプションがあります。

- 詳細の表示 / 編集- 「Journeyの表示 / 編集」 (32 ページ)を参照してください。
- 設定-Journeyの設定 (43ページ on page 40) をご参照ください。
- Journeyを完了としてマークする- 「Journeyを完了としてマークする (36ページ) 」を参照。
- 複製-Journeyの複製 『33ページ』を参照

終了-これをクリックして、パフォーマンス画面を終了します

目標の追加/編集- 目標を追加または編集するには、「[目標の追加/編集 \(45ページ\) on page 43](#)」を参照してください。

一時停止と編集- Journeyを一時停止または編集するには、「Journeyの一時停止と編集 『35ページ』」を参照してください。

マイルストーン

V12.1 Fixpack 4以降では、Milestonesの画面にアクセスできるようになりました。マイルストーン」タブをクリックすると、マイルストーン分析レポートが表示されます。このセクションでは、2つのマイルストーン間の視聴者数減少とマイルストーン達成の平均時間に関する詳細を説明します。トグルスイッチにより、進行状況をファネル表示とグラフ表示で確認することができます。グラフ表示を選択すると、その下にドロップグラフが表示されます。グラフにカーソルを置くと、ドロップ率と平均時間 (日数) が表示されます (時間形式はDDHHMMです)。

達成したマイルストーンに基づき、ファネルチャートは異なる色で表示されます。

- 100%-フルダークグリーン
- 1010 = 明るい緑
- 50%以上 - 黄
- 25%以上 - オレンジ
- 25%以下 - 赤



Note: マイルストーン グラフは、ユーザーがJourneyでマイルストーンを定義した場合にのみ使用できます。マイルストーンは、追加された順番に表示されます。

平均時間- バージョン 12.1.0.3 から 12.1.0.4 にアップグレードした場合、平均時間は 0 と表示されます。データ更新後に表示される平均時間は、Journeyに関連付けられたオーディエンスとデータ更新の差になります。

ファネルビュー- マイルストーンのパフォーマンスをファネルビューまたはグラフビューで表示するには、このトグルスイッチをクリックしてください。

リフレッシュ- 見る [共通機能キー on page 52](#)

エクスポートレポート- 参照 [共通機能キー on page 52](#)

その他のアクション- ドロップダウンに以下のオプションがあります。

- 詳細の表示 / 編集- 「Journeyの表示 / 編集」 (32 ページ)を参照してください。
- 設定-Journeyの設定 (43ページ on page 40) をご参照ください。
- Journeyを完了としてマークする- 「Journeyを完了としてマークする (36ページ) 」を参照。
- 複製 -Journeyの複製 『33ページ』を参照

終了-これをクリックして、パフォーマンス画面を終了します

目標の追加/編集- 目標を追加または編集するには、「[目標の追加/編集 \(45ページ\) on page 43](#)」を参照してください。

一時停止と編集- Journeyを一時停止または編集するには、「[Journeyの一時停止と編集 『35ページ』](#)」を参照してください。

共通機能キー

更新- [更新] ボタンをクリックして、データを更新します。

レポートのエクスポート- これをクリックして、Journey パフォーマンス レポートを PDF 形式でエクスポートします。[レポートのエクスポート] オプションは、公開済みおよび完了済みのJourneyで使用できます。エクスポートされるレポートには、Journeyメタデータ、パフォーマンスグラフ、選択されたパラメータが含まれます。レポートをエクスポートする前に、グラフが完全に読み込まれていることを確認してください。

期間-これをクリックして、パフォーマンスレポートを表示する期間を選択します。デフォルトでは「現在/今月」が選択されていますが、以下のオプションから任意の時間枠を選択することができます。

- 過去 7 日間
- 過去 30 日間
- 現在・今月
- 過去 1 カ月
- 過去 3 カ月
- 過去 6 カ月
- 過去 1 年
- ことし
- [すべて]
- カスタム日付範囲

Chapter 6. Journeyチェーンニング

Unica Journeyドリップマーケティングの機能が含まれています。マーケティング担当者は、1つのオーディエンスグループに対してさまざまなJourneyを実行し、マーケティングの各段階でより良いコミュニケーションで顧客にサービスを提供できます。

一つのJourneyからのオーディエンスフローは、新しいJourneyに移行するために簡単にトリガーできます。Unica Journeyはパブリッシュコントロールを使用してデータを別のエントリソースにプッシュします。Journeysは、このエントリソースを使用して、オーディエンスの流れをトリガーします。

1台からデータを出力できますJourneyパブリッシュタッチポイントを使用してフラットファイルに変換します。このデータは、他のJourneyの静的入力として使用できます。

Chapter 7. Journeyのテンプレート

テンプレート ページには、保存されているすべてのJourney テンプレートが一覧表示されます。このページでは、テンプレート名、テンプレート ID、作成日、関連するデータ定義、プレビューなどの詳細を確認できます。[プレビュー] ハイパーリンクをクリックして、Journeyテンプレートのプレビューを表示します。

必要なJourneyにカーソルを合わせて > をクリックしてテンプレートを削除します。

必要なJourneyにカーソルを合わせ、「Journey」を選択します。 > をクリックして、テンプレートを使ってJourneyを作成します。このテンプレートからJourneyを作成しますか?ダイアログが表示されます。Journeyに名前を付けて、**Create**をクリックします。ユーザーは Journey キャンバス ページにリダイレクトされます。



Note: Journeyテンプレートを編集することはできません。テンプレートを変更した場合、ユーザーは新しいJourneyを作成して更新し、テンプレートとして保存する必要があります。テンプレートの作成には、ユーザーの役割と権限は関連付けられていません。テンプレートのある環境から別の環境にコピーすることはできません。ユーザーは Journey のインポート/エクスポート機能を使用できます。Journeyの目標とJourneyのマイルストーンはテンプレートに関連付けられず、テンプレートに保存されます。



Note: Journey テンプレートは、データ定義およびエントリ ソースと同様のフォルダー構造に保存できます。Journey テンプレートは、現在エントリ ソース、データ定義、およびJourneyにあるように、グローバル検索バーから検索することもできます。名前は同じでもテンプレート ID が異なるテンプレートが存在する場合があります。テンプレートは、データ定義の詳細とともに保存されます。Journeyに関連付けられたエントリ ソースは、テンプレートには保存されません。Journey設定はテンプレートに保存されます。

Chapter 8. Journey との統合を提供

Centralized Offer Management (COM) からのJourneyサポートオファー。COMで作成されたオファーは、Unica Journeyのリンクコネクタで直接メールタッチポイントに関連付けることができます。

Unica Deliver アプリケーションでは、ユーザーはオファーを配信電子メール通信に関連付けることができ、これらの配信電子メール通信は電子メール配信タッチポイントで構成できます。メールコミュニケーションに割り当てられたオファーは、Unica Journeyのメールタッチポイントに関連付けられます。

Journeyは、以下のチャンネルを通じて、オファーの統合をサポートしています。

- Deliver・Offerインテグレーション
- Link・オファー統合
- Interact・ネクスト・ベスト・オファー (NBO)

また、Journeyは、Journey経由で配信されたオファーのコンテンツ履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) のトラッキングにも対応しています。

Deliver・Offerインテグレーション

ユーザーは、Centralized offer management システムでオファーを作成し、それらのオファーをDeliver メールコミュニケーションに関連付けます。

前提条件

- Centralized Offer Management (COM) でオファーを作成する
- Unica Deliver でオファーとの電子メール通信を作成します。
- Unica Deliverを使用して設定したメールタッチポイントごとに、オファー付きのメールコミュニケーションを作成します。Unica Deliver のオファーを使用した Unica 電子メール通信の作成の詳細については、「*Unica Deliver* ユーザー ガイド」を参照してください。

Deliverで電子メールのタッチポイントを設定するには、次の手順を実行します。

1. **メール設定** ダイアログで、「**Deliver**」を選択します。
2. 「**次へ**」をクリックします。
3. **[テンプレートの選択]** ダイアログが表示されます。
4. オファー設定-必要なメールコミュニケーションを選択します。複数のメールコミュニケーションがある場合は、検索バーを使って必要なメールコミュニケーションを探します。オファーが関連付けられたメールコミュニケーションは、そのメールコミュニケーションに設定されたオファーの数とともに、画面の右側に表示されます。例: 1つのオファーが電子メール通信に関連付けられている場合、1つのオファーが表示されます。ユーザーがオファーにマウスを合わせると、オファーコードと有効期限の詳細が表示されます。ユーザーがオファーをクリックすると、オファーの詳細画面が表示されます。
5. 「**次へ**」をクリックします。
6. **[マッピング]** ダイアログが表示されます。

7. Journey作成時にJourneyに関連付けられたデータ定義から得られる) 適切なJourneyフィールドにDeliverフィールドをマッピングします。マッピングによって実行時に値が変更されるため、これは不可欠です。マッピングにより、電子メールのパーソナライズが実現します。Deliverでは、DeliverのFirstNameをJourneyのfnameに、LastNameをlnameにマッピングすると、メール内の敬語がフィールドの値にパーソナライズされます。
8. 「保存」をクリックします。

留意点

- オファーが割り当てられたメールテンプレートがJourneyに関連づけられると、Journeyはそれらのオファーを取得し、メールから受け取ったレスポンスはコンタクトとレスポンス履歴に記録されます。
- ユーザーは、フローチャートの実行日や有効期限ではなく、固定日付で提供されるオファー・テンプレートを使用する必要があります。
- Unica Journeyは、オファーを評価し、コミュニケーションチャンネルに送信する際、有効期限と期限を守りません。ユーザーは、期限切れのオファーを手動で削除し、有効なオファーを割り当てる必要があります。
- 対応するJourneyのパーティション設定が保存されていない場合、関連するオファーに対してコンタクト履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) は取得されません。Journeyパーティションを保存しないで進むと、「Journey用のパーティション設定が保存されていません」という警告メッセージが表示されます。応答履歴やコンタクト履歴 (CH/RH) を保存するには、旅先でのパーティション設定を保存することが重要です。設定メニューから設定を保存することができます。
- Journeyでは、可視性ルールを持つオファー属性がDeliverメールテンプレートに割り当てられている場合、Journeyは可視性ルールを持つオファーのCH/RHのトラッキングをサポートしません。
- オファーが割り当てられたメールテンプレートがJourneyに関連付けられると、Journeyはそれらのオファーを取得し、メールから受け取ったレスポンスはUnica Campaignのコンタクトとレスポンス履歴データベーステーブルに取り込まれます。
- 電子メール通信の配信をJourney タッチポイントに関連付けた後、配信側でオファー属性に変更があった場合、これはJourneyに反映されません。Deliver-オファーとJourneyの関連付けはRead Onlyです。データ定義フィールド画面では、オファーアトリビュートマッピングはサポートされていません。
- Journeyでは、Deliverでバッチ処理でサポートされているオファー機能のすべてをサポートしていません。Journey-Deliver でサポートを提供するためのプレーンなバニラのこと。
- Journeyは、ユーザーがDeliverメール内でクリックしたリンクのクリック数とLinkurlを追跡します。これらのリンクは、Journeyのエンゲージメント・スプリットで使用することができ、また、目標の進捗を確認するために使用することができます。オファーとは異なり、クリックスルー・リンクは、レスポンス・トラッキングの目的でのみJourneyによって捕捉されます。これらのオファーのクリックスルーURLは、Journeyのエンゲージメント・スプリットやJourneyのゴール計算には使用できません。OfferのDeliverメールで利用できるリンクは、リンククリックイベントのEngagement splitページおよびGoalsページには表示されません。目標の履歴ページで、リンククリックの頻度が低い目標の場合、リンクドロップダウンにオファーリンクのURLが表示されなくなります。非頻度ベースのリンククリック目標の場合、オファーリンクのDeliver「リンククリック」数は、総リンククリック数の一部として加算されます。
- Journey Deliver オファーの統合は、オファー属性値の変更をサポートしていません。このオファーが使用されている場合、これらの変更されたオファー属性値はJourneyで使用できません。
- Journeyは重複レコードを許可します。オーディエンスが Journey の電子メール タッチポイントに入るたびに、オファーを受け取ります。このオファーは、Campaign のコンタクト履歴テーブルにコンタクトとして報告されま

す。同じ視聴者IDが同じメールタッチポイントに再入力すると、その視聴者IDにもう一度同じオファーが提示されます。この重複する連絡先が Campaign に投稿されると、**同じオファーを持つ同じ顧客の連絡先が既に報告されている**ことを示す重複する連絡先レコードが破棄されます。Journeyが重複したレコードをJourneyに入力させる場合、初回のみ提示されるオファー（コンタクト）が捕捉されます。同じ視聴者IDの同じオファーに対する後続のコンタクトは破棄されます。ユーザーが同じ対象者を複数回処理したくない場合は、Journey設定で **[連絡先の重複を許可しない]** ラジオ ボタンを選択することをお勧めします。ユーザーが同じJourneyで同じオーディエンスを複数回プッシュした場合、最初のコンタクトのみが記録されます。同じ視聴者IDの同じオファーに対する後続のコンタクトは破棄されます。

- Deliver側でオファー統合のために、Centralized Offer Managementのすべての属性がサポートされているわけではありません。

次のオファー属性は、Deliver メール通信でオファーが割り当てられ、応答が Journey に記録される場合にサポートされます。

- **標準属性**

- 平均レスポンス収入
- チャンネル
- チャンネルタイプ
- オファー当たりのコスト
- クリエイティブ URL
- 有効期限と有効期間
- フルフィルメントコスト
- インタラクション・ポイント ID
- インタラクションポイント名
- オファー固定コスト

- **カスタムアトリビュート**

- テキスト・フィールド - 文字列
- テキストフィールド - 数値
- テキストフィールド - 日付
- テキストフィールド - 通貨
- セレクトボックス - 文字列

次のオファー属性は、Deliver メール通信でオファーが割り当てられている場合はサポートされていません。

- Boolean
- Integer
- URL
- リッチ・テキスト
- セレクトボックス-データベース
- Journey-Deliverのオファー統合によってコンタクト/レスポンス履歴がすでに入力されているオファーをユーザーが削除しようとした場合、そのオファーは削除時にCOMで引退させられます。今後、ユーザーが新しいオーディエンスをプッシュした場合、オファーがリタイア状態であっても、そのオーディエンスに対してコンタクト/レスポンス履歴が生成されます。

- ユーザーがオファーを使用して配信タッチポイントを構成しても、Journeyがまだドラフト状態 (公開されていない) である場合、ユーザーはこのオファーを COM から削除できます。これ以降、ユーザーはJourneyを公開できます。Eメールはオーディエンスに送信されますが、応答履歴は Campaign で生成されません。
- Journey Deliver オファーの統合は、COM オファーのバリエーションとテンプレートなしのオファーをサポートしていません。
- Journey Deliver オファー統合では、Journey は OfferUrl および OfferstaticAttributejson 情報をキャプチャしないため、これらの列は Journey データベースの offermetadata テーブルで Null として表示されます。JourneyはCOMの静的属性をサポートしていません。
- ユーザーがオファーコードとオファーの有効期限をツールチップに表示できない場合、プラットフォームでトークンの有効期限を延長する必要があります (有効期限は **Platform > 設定方法 > 設定方法 > 一般設定 > その他 > トークンの有効期限**)。トークンの有効期限を延長した後、PlatformとOfferアプリケーションを再起動します。

Link・オファー統合

ユーザーは、Linkコネクターを通じて送信されるJourneyのタッチポイントに、オファーやオファーのバリエーションを割り当てることができます。詳細については、*Centralized Offer Management*管理者ガイドを参照してください。

集中オファーマネジメントとUnica Journeyの統合のための前提条件。

リンク接続にUnica JourneyのCentralized Offers Management (COM) を使用する場合、以下のようにUnica Marketing Platformのコンフィギュレーションを設定する必要があります。

1. Marketing Platformの設定で、トークンの有効期限を10800秒 (3時間) に延長する必要があります。
その他'の設定に移動する (Affinium|Manager|その他)
トークン寿命 = 10800に設定
2. 以下の設定により、1回限りのトークンを使用するためのPlatformフラグを無効にすることができます。
API管理」の設定に移動する (Affinium|suite|security|apiSecurity)
セッションベースのAPI認証を有効にする - 有効
1回使用したらセキュリティトークンを削除する - 無効
3. Platformでは、キャンペーンCentralized Offer Management、オファー集中管理ともに、上記の設定は無効にしてください。

Linkで電子メールのタッチポイントを設定するには、次の手順を実行します。

1. **[電子メールの構成]** ダイアログで、**[Link]** を選択します。
2. オファーを追加する]-**[このタッチポイント (テンプレート) にオファーを関連付ける]** チェックボックスをオンにし、電子メールに関連付けられたオファーを表示します。
3. **[オファーの選択]** をクリックします。



Note: 対応するJourneyのパーティション設定が保存されていない場合、関連するオファーに対してコンタクト履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) が取得されず、オプションの [オファーを選択] が無効になります。パーティション設定が保存されると、[オファーの選択] オプションが有効になります。

4. Centralized Offer Management からの**オファー画面**が表示されます。ユーザーは、表示されたオファーリストから1つまたは複数のオファーを選択するか、オファーをダブルクリックしてオファーバリエーションから選択することができます。
5. [オファーの選択] をクリックします。
6. [オファー レスポンス マッピング] ページが表示されます。すべてのオファーにLink URLを関連付ける。URLが提供されない場合、CH/RHの履歴は失われます。この画面で、オファーレスポンスの追跡に必要なURLを入力します (前提条件: 使用するメールテンプレートにLinkがあること)
7. **完了** をクリックします。

留意点

- バージョン12.1.1より前に作成されたJourneyでは、既存の電子メールタッチポイントをLinkオファーに関連付けることはできません。
- ユーザーは、フローチャートの実行日や有効期限ではなく、固定日付で提供されるオファー・テンプレートを使用する必要があります。
- Unica Journeyは、オファーを評価し、コミュニケーションチャンネルに送信する際、有効期限と期限を守りません。ユーザーは、期限切れのオファーを手動で削除し、有効なオファーを割り当てる必要があります。
- LinkMailchimpコネクタでオファー統合を行った場合、最初のLinkクリックに対して2つのレスポンスが返ってくることがあります。電子メールクライアントの動作に基づいて、Linkクリックの処理方法によって、Mailchimpは重複したLinkクリック イベントを受信する場合があります。これにより、Linkに割り当てられたオファーに対する応答が重複します。
- Journeyでは、視認性ルールを持つオファー属性がLinkタッチポイントに割り当てられると、Journeyは視認性ルールを持つオファーのCH/RHのトラッキングをサポートしません。オファーの可視化ルールに関係なく、すべてのオファー属性がLinkフィールドマッピングのドロップダウンに表示されます。
- Link側でオファー統合のためにサポートされているCentralized Offer Management属性のすべてがサポートされているわけではありません。Link側で対応していない属性は、オファー統合後、反映されません。Linkは以下の属性をサポートしています。
 - integer
 - date
 - boolean
 - チャンネルタイプ
 - string

Interact・ネクスト・ベスト・オファー (NBO)

オーディエンスがJourneyをナビゲートしている間、Journeyは実行時にInteractから最適なパーソナライズド・オファーを取得し、リンクチャンネルを通じてオーディエンスにそれらのオファーを送信することができます。

Interact NBOで電子メールのタッチポイントを設定するには、次の手順を実行します。

1. [電子メールの構成] ダイアログで、[Link] を選択します。
2. オファーを追加する]-[このタッチポイント (テンプレート) にオファーを関連付ける] チェックボックスをオンにすると、電子メールにオファーを関連付けることができます。
3. 次の最良のオファーをクリックします



Note: Journey のパーティション設定が保存されていない場合でも、NBO ボタンは有効になります。Interact がプラットフォームにインストールされていない場合、NBO ボタンは無効のままになります。

4. 次の最良のオファー ページが表示されます。
5. 以下のフィールドに適切な値を入力してください。
 - インタラクティブチャンネル-これは必須項目である。Interact Runtime にデプロイされた Interactive チャンネルを選択します。ユーザーが配置されたインタラクティブチャンネルを選択しない場合、テスト接続は機能しません。



Note: 特定の状況では、(公開された状態の Journey で選択された) Interactive チャンネルが Interact ランタイムからアップデプロイされると、Journey は Interact からオーディエンスへのオファーを受信せず、エラー状態のトランザクションが表示されます。オーディエンスはメールを送信することなく、次のタッチポイントに移動します。

- 対象者レベル-必須フィールド
- インタラクションポイント-必須項目
- イベント選択-必須項目 (コンタクトアクションに関連するイベントのみが選択可能です)。
- Interact ランタイム URL-必須フィールド (一度にマップできるランタイム URL は 1 つだけです)。
- 対話プロファイルフィールド マッピング-対話フィールドを Journey フィールドにマップします。
- **完了**をクリックします。



Note:

- a. ユーザーがインタラクティブ チャンネルとオーディエンス レベルを選択すると、ユーザーのみがマッピング用の Interact プロファイル テーブルフィールドを取得します。Interact プロファイル テーブルのフィールドは、Journeyのオーディエンス (データ定義) フィールドにマップできるため、Journeyが公開されると、オーディエンス情報が startSession API 呼び出しとして Interact ランタイムに渡されます。例えば、データ定義フィールドの文字列データ型は、Interactプロファイルテーブルの数値フィールドにマッピングしてはならず、その逆もまた然りです。
- b. 現在、Interact・ネクスト・ベスト・オファー統合は、partition1のみ対応しています。
- c. Interact で構成されている静的/戦略的セグメントは、NBO では機能しません。

コンタクト履歴/レスポンス履歴のトラッキング

Journeyから配信されたオファーのコンタクト履歴とレスポンス履歴 (CH/RH) は、Campaignの集中履歴 (CH) テーブルで追跡されます。配信メールチャンネル、リンクコネクタ、またはリンク配信チャンネルを使用したインタラクティブによって

配信されたオファーが、CH/RHトラッキングに記録されます。このトラッキングは、各Campaignのコンタクト履歴テーブルで行われます。

Journeyでは、ユーザーがDeliverコミュニケーション、リンクコネクター、またはInteractでオファーを割り当てる場合、履歴を追跡するパーティションとオーディエンスレベルを指定する必要があります。選択したパーティションと視聴者レベルに基づいて、履歴テーブルがCampaignスキーマに入力されます。履歴関連情報は、Campaignに活用できます。ユーザーはこの情報をCampaignからJourneyに送信することで、顧客とのコンタクトやレスポンスがどのように機能しているかを検証することができます。

ユーザーがCampaign設定で新しい視聴者レベルを追加した場合、必ずCampaign webアプリケーションを再起動してください。この操作を行うことで、新たに追加された視聴者レベルのコンタクトとレスポンスの履歴を同期させることができます。

Journeyのコンタクトとレスポンスは、Kafkaトピック-UNICA_CH_RHを介して、Campaignのコンタクトとレスポンスの履歴テーブルと同期されます。このトピックに関するすべての連絡と応答は、Campaign・アプリケーションによって消費され、履歴テーブルに同期されます。Campaignはkafkaから履歴・レコードを消費しますが、これらのメッセージがKafkaトピックで使用できる期間を示すkafka構成に基づいて、それらは引き続きUNICA_CH_RHトピックに表示されません。

Campaignグループに複数のkafkaコンシューマーが存在する場合、入力されるコンタクト履歴と応答履歴の動作が不一致になることがありました。kafkaインスタンスのコンシューマーを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
kafka-consumer-groups.sh -bootstrap-server <kafka_host>:<port> --describe -group Campaign
```

Chapter 9. 設定

設定メニューを使用して、JourneyEメールコネクタ、SMSコネクタ、CRM接続、REST統合などの統合。

デフォルトの電子メール接続の設定する

複数のコネクタがある場合Unica Link電子メールを送信する場合、[設定]メニューでデフォルトの電子メール接続を**設定**できます。

About this task

デフォルトの電子メール接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > **Link** > **電子メール**を選択する。

Result

[**電子メール**]ページが表示されます。

2. [**使用可能な接続**]リストから、接続を選択します。

利用可能な接続には、Mandril、Mailchimpなどが含まれます。

3. [**保存**]をクリックします。

既存の接続を選択解除して、[**保存**]をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

デフォルトのSMS接続の設定する

複数のコネクタがある場合Unica LinkSMSを送信する場合は、[設定]メニューでデフォルトのSMS接続を**設定**できます。

About this task

デフォルトのSMS接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > **Link** > **SMS**を選択する。

Result

SMSページが表示されます。

2. [**使用可能な接続**]リストから、接続を選択します。



Note:

電話番号の形式は、配信チャネルの仕様に従って記載する必要があります。Journey電話番号を同じ形式で配信チャネルに送信します。たとえば、参照でサポートされている Twilio 接続の電話番号形式Journey以下のとおりであります：

- <プラス記号><国コード><10桁の電話番号>- +15403241212 .
- <プラス記号> <国コード <市外局番> <3桁の数字><4桁の数字>- +1 (540) 324 1212 .
- <プラス記号><国コード><市外局番><3桁の数字><4桁の数字>- +1-540-324-1212 .
- <プラス記号> <国コード><市外局番><3桁の数字><4桁の数字>- +1 540-324-1212 .



入力した電話番号の形式に関係なく、Unica Journey次の形式で番号を保存します: <プラス記号><国コード><10桁の電話番号>。たとえば、電話番号を+1 540-324-1212として指定すると、Unica Journey電話番号を+15403241212として保存します。

デフォルトのSMS接続として Twilio を選択すると、次の形式の電話番号のみが受け入れられます: <プラス記号><国コード><10桁の電話番号>。たとえば、+15403241212です。

3. **[保存]**をクリックします。

デフォルトの CRM 接続の設定

複数の CRM 接続がある場合は、[設定] メニューで既定の CRM 接続を**設定**できます。

About this task

デフォルトの CRM 接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > **Link** > **CRM** を選択する。

Result

CRM ページが表示されます。

2. **[使用可能な接続]** リストから、接続を選択します。
3. **[保存]** をクリックします。

デフォルトの ADTECH 接続の設定

複数の ADTECH コネクタがある場合は、[設定] メニューで既定の電子メール接続を**設定**できます。

About this task

デフォルトの電子メール接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > **Link** > **ADTECH** を選択する。

Result

ADTECH ページが表示されます。

2. **[使用可能な接続]** リストから、接続を選択します。

利用可能な接続には、Mailchimp、Twilio、および Salesforce が含まれます。

3. **[保存]** をクリックします。

既存の接続を選択解除して、**[保存]** をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

LinkedInのデフォルト接続を設定する

LinkedInをデフォルトの接続先として設定することができます

About this task

LinkedInのデフォルト接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > **Link > 接続を管理し**を選択して、**[新しい接続]** ボタンをクリックします。
2. **新しい接続の作成**で、任意の名前を追加して、「**次へ**」ボタンをクリックします。
3. **接続タイプ**の種類をLinkedIn Adsに選択し、「**次へ**」ボタンをクリックします。
4. **接続のプロパティ** ページで、「**コードを取得**」ボタンをクリックすると、LinkedInのログインページに移動し、LinkedInのA/CユーザーIDとパスワードを追加します。
5. ログインに成功したら、LinkedInブラウザのURLをコピーして、新規接続の作成ページのテキストフィールド **Redirect Url response**に貼り付けてください。
6. **[トークンの取得]** ボタンをクリックし、「**テスト**」をクリックします。テスト接続が成功したら、「**保存**」ボタンをクリックします。



Note: LinkedInの回答が変更され、設定されたLinkedInのタッチポイントで次の回答が利用できるようになります。**オーディエンスサイズ、マッチング数、オーディエンスステータス**。Unica リンクはこれらの応答を Journey に送信し、リンク応答に応じて、オーディエンスのサイズ、一致数、およびオーディエンスのステータスが LinkedIn タッチポイントで利用可能になります。

デフォルトのデータベース接続を設定する

複数のデータベース コネクタがある場合は、「設定」メニューで既定の電子メール接続を**設定**できます。

About this task

デフォルトの電子メール接続を設定するには、次の手順を実行します。

1. > **Link > データベース**を選択します。

Result

データベースページが表示されます。

2. **[使用可能な接続]** リストから、接続を選択します。
3. **[保存]** をクリックします。

既存の接続を選択解除して、「**保存**」をクリックすることもできます。これにより、デフォルトの接続が設定されていないことが保証されます。

接続を管理する

このメニューからUnica Link接続を管理できます。

About this task

との接続を作成できます。Unica Link Mailchimp、Mandrill、Salesforce、Twilio などのコネクタ。すべての既存は **[Existing Connections (n)]** にパネルでの接続を表示できます、ここで、*n*は接続の数です。

1. Mailchimp 接続を作成するには、次の手順を実行します。
 - a. > **Link > 接続の管理 > 新規作成**を選択する。

Result

[新しい接続の作成] ページが表示されます。

- b. 次のフィールドに値を入力します。
 - **名前**-必須
 - **説明**-オプション
- c. **[次]**をクリックします。
- d. **[接続の選択]** パネルから、**[Mailchimp]** を選択します。
- e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



Note: 入力するフィールドと値については、*Unica LinkMailchimp* ユーザー ガイドを参照してください。

- ベース URL
 - ユーザー ID
 - API キー
 - アクティビティのフェッチ頻度
 - アクティビティフェッチユニット
- f. **[テスト]**をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。
 - g. 接続を保存するには、**[保存]** をクリックします。

Result

新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]** パネルに表示されます。

2. Mandril 接続を作成するには、次の手順を実行します。

- a. **> Link > 接続の管理 > 新規作成** を選択する。

Result

[新しい接続の作成] ページが表示されます。

- b. 次のフィールドに値を入力します。
 - **名前**-必須
 - **説明**-オプション
- c. **[次]**をクリックします。
- d. **[接続の選択]** パネルから、**Mandrill** を選択します。
- e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



Note: 入力するフィールドと値については、*Unica Link*マンドリル ユーザー ガイドを参照してください。

- API キー
- アクティビティのフェッチ頻度
- アクティビティフェッチユニット

f. **[テスト]**をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。

g. 接続を保存するには、**[保存]**をクリックします。

Result

新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]**パネルに表示されます。

3. Salesforce 接続を作成するには、次の手順を実行します。

a. > **Link** > **接続の管理** > **新規作成**を選択する。

Result

[新しい接続の作成]ページが表示されます。

b. 次のフィールドに値を入力します。

- **名前**-必須
- **説明**-オプション

c. **[次]**をクリックします。

d. **[接続の選択]**パネルから、Salesforceを選択します。

e. **[接続プロパティ]**パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



Note: 入力するフィールドと値については、*Unica LinkSalesforce* ユーザー ガイドを参照してください。

- インスタンス URL
- アクセストークン
- バージョン

f. **[テスト]**をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。

g. 接続を保存するには、**[保存]**をクリックします。

Result

新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]**パネルに表示されます。

4. Twilio 接続を作成するには、次の手順を実行します。

- a. > **Link** > **接続の管理** > **新規作成**を選択する。

Result

[新しい接続の作成]ページが表示されます。

- b. 次のフィールドに値を入力します。
- **名前** 必須
 - **説明** オプション
- c. **[次]**をクリックします。
- d. **[接続の選択]** パネルから、**[Twilio]** を選択します。
- e. **[接続プロパティ]** パネルで、次の必須フィールドに値を指定します。



Note: 入力するフィールドと値については、*Unica LinkTwilio* ユーザー ガイドを参照してください。

- **ベース URL**
- **アカウント SID**
- **認証トークン**
- **番号から**
- **再試行間隔**
- **再試行回数**

- f. **[テスト]**をクリックして、接続をテストします。指定された値が正しい場合は、成功メッセージが表示されます。指定した値が正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- g. 接続を保存するには、**[保存]** をクリックします。

Result

新しい接続が正常に保存され、**[既存の接続]** パネルに表示されます。

RESTの統合

REST キーは、アプリケーションへのサードパーティ ログインに使用されます。キーと値のペアを生成し、キーと値のペアを使用してログインできますJourneyサードパーティ製アプリケーションの使用。

新しい REST 統合の作成

新しい REST 統合キー ペアを作成するには、次の手順を実行します。

1. > **REST**を選択します。

Result

RESTページが表示されます。

2. **+ REST 統合**をクリックします。

Result

新しい **REST 統合**ページが表示されます。

3. 次のフィールドに値を入力します。

- **アプリ名** 必須。
- **説明** オプション。

4. **[キーの生成]** をクリックします。

Result

システムは**ClientID**と**ClientSecret**を生成します。

5. トグルバーを使用して、**[ステータス]**を [アクティブ] または [非アクティブ] に変更します。デフォルトでは、**ステータス**は アクティブ です。

6. REST 統合を保存するには、**[保存]** をクリックします。

オーディエンス データを送信するにはJourney、REST エンドポイントの構成に使用される REST エントリ ソースに記載されている詳細に従います。手順 (4) を実行したときに受け取った**ClientID**と**ClientSecret**を使用して、エントリソースで REST エンドポイントを構成します。

REST 統合リストを表示します

Unica Journey作成された REST 統合のリストを維持します。

About this task

REST 統合のリストを表示するには、次の手順を実行します。

1. **> REST**を選択します。

Result

RESTページが表示されます。

2. 次の操作のいずれかを実行します。

- a. **[名前]** フィールドで REST 統合のリストを昇順または降順で表示するには、**[名前]** をクリックします。
- b. **[説明]** フィールドで REST 統合のリストを昇順または降順で表示するには、**[説明]** をクリックします。

既存の REST 統合の変更

既存の REST 統合を説明とステータスのみを変更できます。

About this task

既存の REST 統合を変更するには、次の手順を実行します。

1. **> REST**を選択します。

Result

RESTページが表示されます。

2. 残りの統合を変更するには、次のいずれかを実行できます。

Choose from:

- リストから必要な REST 統合を選択します
- 選択する **>**

Result

REST 統合の更新ページが表示されます。

3. 次のフィールドのみを更新できます。

Choose from:

- 説明
- ステータス

4. 変更を保存するには、**[保存]** をクリックします。

REST 統合の削除

使用されなくなった、または不要になった非アクティブな REST 統合のみを削除できます。

Before you begin

REST 統合エントリのステータスを変更するには、[既存の REST 統合の変更 on page 68](#)を参照してください。

About this task

既存の非アクティブな REST 統合を削除するには、次の手順を実行します。

1. **> REST**を選択します。

Result

REST ページが表示されます。

2. 次のいずれかの手順を実行します。

Choose from:

- REST 統合を削除するには、**>** リスト内の REST 統合を成功させます。
- 複数の REST 統合を削除するには、リストで削除する REST 統合の前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]** をクリックします。

3. 確認ボックスが表示されます。削除を続行するには、**[OK]** をクリックします。

デベロッパーツール

デベロッパーツールの一覧を表示します。

API ドキュメント

Swagger の UI で Journey の API 一覧を見ることができます。Swagger v3 UI は、IE 11 をサポートしていません。

AWS ELB (Elastic Load Balancing) が HTTPS 上にあり、Journey 製品が HTTP 上にある場合、Journey Swagger API ページがロードされていないか、Swagger API が実行されていない場合、ユーザーは以下の**パラメータ コネクタ タグ**をサーバーに追加して、**SSL オフロード用に Tomcat を設定する必要があります**。xml:

例: /opt/Tomcat/Journey_instance/conf/server.xml

```
<Connector port="7010" protocol="HTTP/1.1"
```

```
connectionTimeout="20000"
```

```
スキーム="https" セキュア="true"
```

```
redirectPort="9010" />
```

Chapter 10. 基本的な機能

基本機能は、いつでもアクセスできる機能です。

基本的な機能のリストは次のとおりです：

- 検索
- ヘルプ
- プロフィールの情報

検索

検索機能を使用して、Journey、エン트리ソース、データ定義、フォルダーなどのアーティファクトを見つけます。検索はヘッダーバーに配置され、使用しているメニューに関係なくいつでもアクセスできます。

検索機能には次のオプションがあります。

Table 7. 検索オプション

検索オプション	説明
フォルダ内を検索	アクティブなメニューの現在のフォルダーで、入力されたパターンを検索します。 たとえば、ユーザーがエントリーソースメニューを使用していて、現在のフォルダーがFilesである場合、オプションはFilesフォルダー内のパターンに一致するエン트리ソースを検索します。
Journeyで検索	入力したパターンに一致するJourneyを検索します。
入力ソースで検索	入力したパターンに一致するエントリソースを検索します。
データ定義で検索	入力したパターンに一致するデータ定義を検索します。
すべてで検索	入力したパターンに一致するJourney、エントリソース、およびデータ定義を検索します。 検索結果は、Journey、データ定義、およびエントリソースのさまざまなタブに表示されます。



Note: 検索オプションの順序は、アクティブなメニューによって異なります。

例

パターン`Mailer`を検索したい場合で、現在のフォルダーが`HolidayMailers`の場合、次のオプションが表示されます。

'HolidayMailers' フォルダー
で検索データ定義で検索 Journey で検索エントリ ソースで検索すべてで検索

ヘルプ

ヘルプ機能を使ってJourney、いつでもドキュメンテーションをアクセスすることができます。

[ヘルプ]をクリックして、*Unica Journey*ユーザー ガイドをクリックしてください。doc.unica.comから追加のドキュメントにアクセスすることもできます。

プロフィールの情報

現在ログインしているプロファイル名を表示します。ログインしたプロファイルのユーザー名が表示されます。

Unica Journeyからログアウトするにはプロファイル名をクリックして**[サインアウト]**を選択します。

Chapter 11. 共通機能

フォルダー

フォルダーには、作成するすべての成果物が含まれます。アーティファクトには、Journey、エントリース、およびデータ定義が含まれます。

アクティブなメニューに関連するフォルダのみにアクセスできます。たとえば、[Journey] メニューを表示しているときにフォルダー機能にアクセスすると、Journeyを含むフォルダーのみを表示できます。エントリース または データ定義を含むフォルダーを表示することはできません。

フォルダにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 次のいずれかのメニューを選択します。
 - Journeys
 - エントリーソース
 - データ定義
2. [フォルダ]をクリックします。フォルダパネルが表示されます。

フォルダに対して次の操作を実行できます。

Table 8. フォルダ操作

フォルダ操作	各種資料と情報源
フォルダを作成する	詳しくは、『 フォルダーの作成 on page 72 』を参照してください。
フォルダを検索する	詳しくは、『 フォルダを検索する on page 73 』を参照してください。
フォルダを編集する	詳しくは、『 フォルダの編集 on page 73 』を参照してください。
フォルダを表示する	詳しくは、『 フォルダを表示する on page 73 』を参照してください。
フォルダー内のアーティファクトを表示する	詳しくは、『 フォルダー内のアーティファクトが表示されます on page 74 』を参照してください。
1 つまたは複数のフォルダーを別のフォルダーに移動する	詳しくは、『 1 つまたは複数のフォルダーの移動します on page 75 』を参照してください。
1 つまたは複数のフォルダーを削除する	詳細については、 1 つまたは複数のフォルダーを削除する on page 75 を参照してください。

フォルダーの作成

Journey、エントリース、データ定義などのアーティファクトを保存する新しいフォルダーを作成します。

About this task

フォルダを使用してアーティファクトを整理できます。新しいフォルダーを作成するには、次の手順を実行します。

1. **フォルダ**をクリックします。

Result

フォルダパネルが表示されます。

2. **[すべてのフォルダ]**を選択します。
3. **[+フォルダー]**をクリックします。

Result

新しいフォルダが表示されます。

4. フォルダに関連する名前を入力し、をクリックします。

フォルダを検索する

検索機能を使用してフォルダを見つけます。フォルダがたくさんある場合、検索機能は非常に便利です。

About this task

フォルダの長いリストをスクロールしないようにするには、検索機能を使用してフォルダを見つけます。フォルダーを検索するには、次の手順を実行します。

1. **[フォルダ]**をクリックします。

Result

フォルダパネルが表示されます。

2. **[検索のフォルダーテキスト ボックス]**に検索するフォルダーの名前を入力し、。

Result

入力したフォルダ名に一致するフォルダが表示されます。部分文字列を使用してフォルダーを検索することもできます。

フォルダの編集

フォルダを編集する場合、フォルダ名のみを変更できます。

About this task

フォルダーを編集するには、次の手順を実行します。

1. **[フォルダ]**をクリックします。

Result

フォルダパネルが表示されます。

2. 必要なフォルダを検索するか、**[すべてのフォルダ]**を選択できます。必要なフォルダを検索するには、を参照してください。 [フォルダを検索する on page 73](#) .
3. 必要なフォルダにカーソルを合わせて選択します。
4. フォルダ名を変更してを選択します。

フォルダを表示する

フォルダは、ルート フォルダまたは別のフォルダ内にあります。フォルダにアクセスするには、複数の方法があります。

About this task

作成するすべてのフォルダは、ルートフォルダにあります。文字「/」はルートフォルダを表します。フォルダを表示するには、または複数のフォルダを表示するには、次の手順を実行します。

1. **[フォルダ]**をクリックします。

Result

フォルダパネルが表示されます。

2. フォルダを表示するには、次のいずれかの手順を実行します。
 - a. 特定のフォルダを表示するには、**フォルダの検索機能**を使用します。詳しくは、『[フォルダを検索する on page 73](#)』を参照してください。
 - b. すべてのフォルダを表示するには、**[すべてのフォルダ]**を選択します。
 - c. 頻繁にアクセスするフォルダを表示するには、**[よく使用する]**を選択します。

フォルダ内のアーティファクトが表示されます

フォルダには、他のフォルダまたは次のアーティファクトのいずれかを含めることができます: Journey、エントリーソース、またはデータ定義。

Before you begin

[フォルダ on page 72](#)を参照してください。

About this task

フォルダの内容を表示するには、複数の方法があります。フォルダの内容を表示するには、次の手順を実行します。

1. **[フォルダ]**をクリックします。

Result

フォルダパネルが表示されます。

2. フォルダの詳細をすばやく表示するには、次の手順を実行します。
 - a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、**[よく使用する]**を選択します。**[すべてのフォルダ]**を選択することもできます。
 - b. 必要なフォルダにカーソルを合わせます。フォルダの数と、そのフォルダ内の成果物の数を表示できます。
3. フォルダの詳細を表示するには、次の手順を実行します。
 - a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、**[よく使用する]**を選択します。**[すべてのフォルダ]**を選択することもできます。
 - b. 選択して、必要なフォルダを開きます。

Result

フォルダ(n)と**<アーティファクト>(n)**の2つのタブが表示されます。<アーティファクト>は、アクセスしているメニューに応じて、Journey、エントリーソース、またはデータ定義のいずれかであり、(n)はそれを示す番号です。フォルダ内のアーティファクトの数。

例: 例¹という名前のフォルダには、例^{1.1}と例^{1.2}という2つのサブフォルダがあります。例¹フォルダには3つのJourneyがあり、例^{1.1}フォルダと例^{1.2}フォルダにはそれぞれ2つのJourneyがあります。

フォルダー例¹を開くと、**フォルダ(2)**と**Journey(3)**の2つのタブが表示されます。

フォルダー例^{1.1}を開くと、**フォルダ(0)**と**Journey(2)**の2つのタブが表示されます。

フォルダー例^{1.2}を開くと、**フォルダ(0)**と**Journey(2)**の2つのタブが表示されます。

4. アーティファクトのレポートを表示するには、次の手順を実行します。

- a. フォルダが頻繁にアクセスされるフォルダである場合は、**[よく使用する]**を選択します。**[すべてのフォルダ]**を選択することもできます。
- b. 選択して、必要なフォルダーを開きます。
- c. **ビュー<アーティファクト名>**をクリックします。アーティファクト名は、Journey、エントリースource、またはデータ定義です。

Result

リストは、それぞれのメニュー ページに表示されます。

1 つまたは複数のフォルダーの移動します

すべてのフォルダーがルート (/) レベルにある必要はありません。整理しやすくするために、一部のフォルダーを他のフォルダー内に移動できます。

About this task

1 つのフォルダーを別のフォルダーに移動するか、複数のフォルダーを別のフォルダーに移動するには、次の手順を実行します。

1. **[フォルダ]**をクリックします。

Result

フォルダパネルが表示されます。

2. **[すべてのフォルダ]**を選択します。
3. 次のいずれかの方法でフォルダを移動できます。
 - a. 単一のフォルダーを移動するには、必要なフォルダーの上にカーソルを置いて、をクリックするか、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択して **[フォルダに移動]** をクリックします。
 - b. 複数のフォルダを移動するには、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択し、**[フォルダに移動]** をクリックします。
4. 必要な宛先フォルダーを選択し、**[ここに移動]** をクリックします。

1 つまたは複数のフォルダーを削除する

削除操作を使用して、不要なフォルダーを削除します。一度に1つのフォルダーを削除することも、複数のフォルダーを削除することもできます。

About this task

フォルダーにアーティファクトまたはサブフォルダーが含まれていない場合、削除操作はフォルダーのみを削除します。フォルダーにアーティファクトまたはサブフォルダーが含まれている場合は、削除機能を使用する前に、まずアーティファクトとサブフォルダーを削除してください。

フォルダーまたは複数のサブフォルダーを削除するには、次の手順を実行します。

1. **[フォルダ]**をクリックします。

Result

フォルダパネルが表示されます。

2. **[すべてのフォルダ]**を選択します。

3. 次のいずれかの方法でフォルダを削除できます。

- a. 単一のフォルダーを削除するには、必要なフォルダーの上にカーソルを置いて、をクリックするか、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択して、**[削除]**をクリックします。
- b. 複数のフォルダを削除するには、必要なフォルダの前にあるチェックボックスを選択し、**[削除]**をクリックします。